

2. 保護者アンケート結果票

2-1 調査概要

(1)対象

市内小学校に通う 5 年生児童、市内市立中学校に通う 2 年生生徒の保護者 1337 人※

※小学 5 年生児童・中学 2 年生生徒の人数(兄弟姉妹の重複があれば保護者数と誤差がある。)

(2)時期

令和 5 年 7 月 3 日から令和 5 年 7 月 31 日

(3)調査方法

WEB フォームにアクセスして回答

(4)回収数(回収率)

800(59.8%)

(5)設問項目

問1 平日、学校での出来事や勉強について話すか

問2 携帯電話やスマートフォンを持たせているか

問3 使用時間や利用方法についての約束事や指導を行っているか

問4 お子さんに関して困ったり悩んだりすることはあるか

問5 困ったり悩んでいたりはすることは何か

問6 誰に相談するか

問7 子ども達が成長していくうえで問題だと感じること

問8 家庭での教育力を高めるための取組

問9 家庭における教育で、行政に支援を期待すること

問10 学校に期待する教育や指導は何か

問11 学校は期待に応えてくれると思うか

問12 学校や教員には何が必要か

問13 教員の質を高めていくうえで、必要と思われること

問14 学校の在り方について

問15 地域との関わりはどのようなものか

問16 地域住民に期待すること

問17 お子さんに対して、将来どのような人になってほしいと思うか

問18 自由記述

2-2調査結果

I 家庭の子育てについて

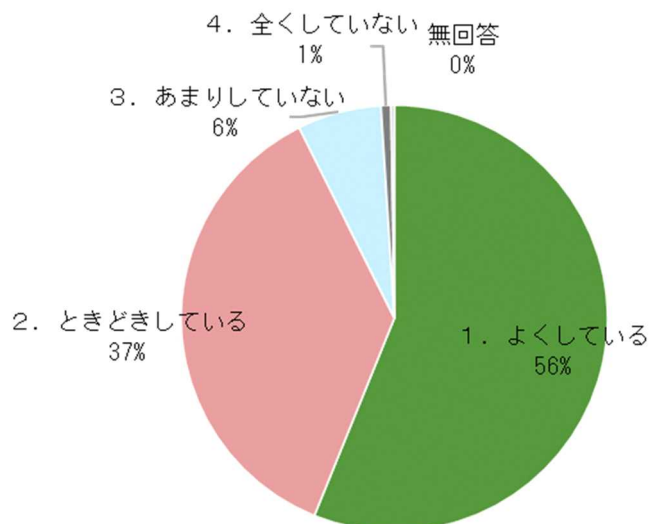
問1 平日、学校での出来事や勉強について話すか

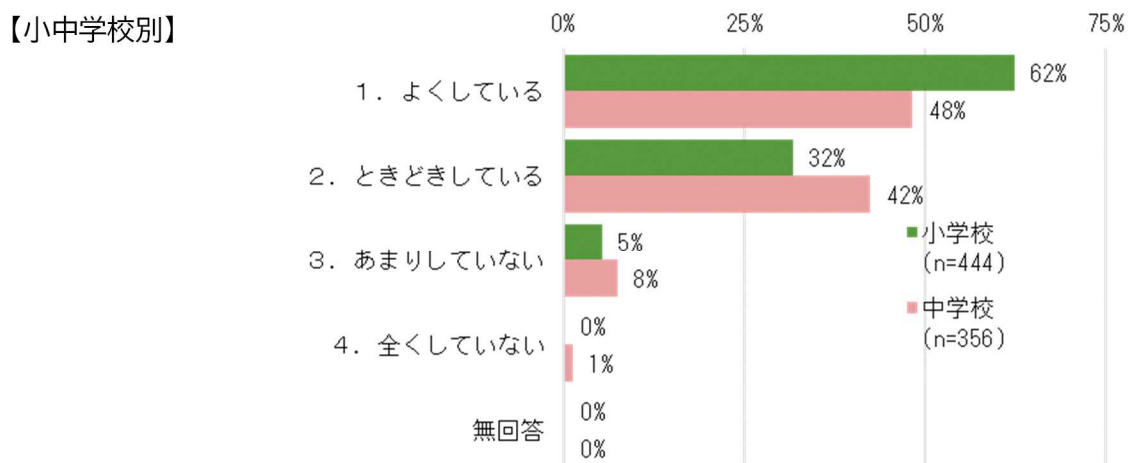
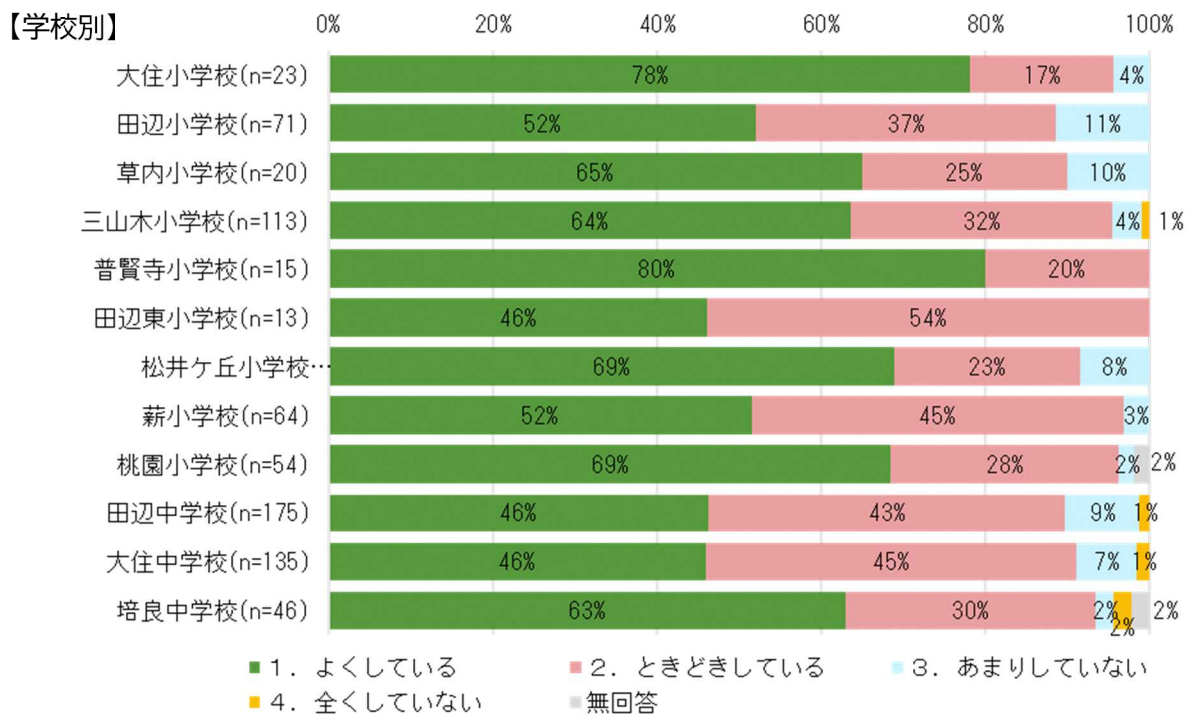
あなたは、平日、お子さんと学校での出来事や勉強のことについて話をしていますか。(1つ選択)

「よく話している」が56%、「ときどき話している」が37%と、9割以上の回答者が、学校や勉強のことを子どもと話していることがわかった。

小中学校別では、「よく話している」は、小学校の方が中学校より割合が高く、「ときどき話している」は、中学校の方が割合が高くなっている。学校別については、各学校の回答総数の差が大きく単純に比較はできない。

問1 平日、学校での出来事や勉強について話すか (n=800)





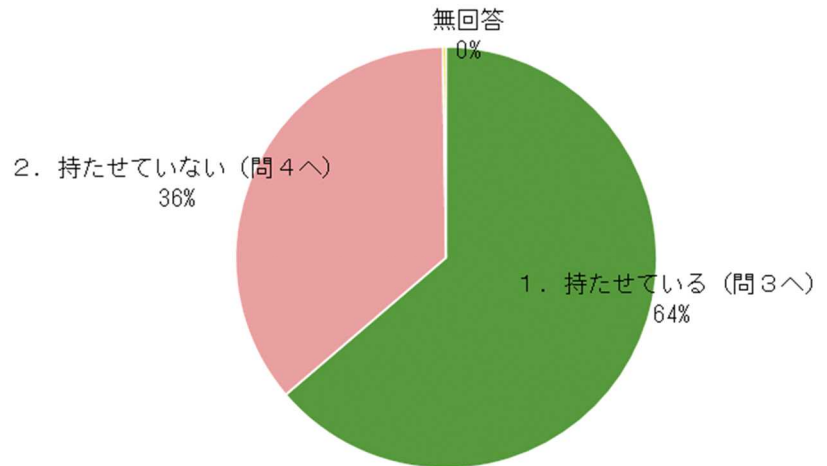
問2 携帯電話やスマートフォンを持たせているか

あなたは、お子さんに自分専用の携帯電話やスマートフォンを持たせていますか。(1つ選択)

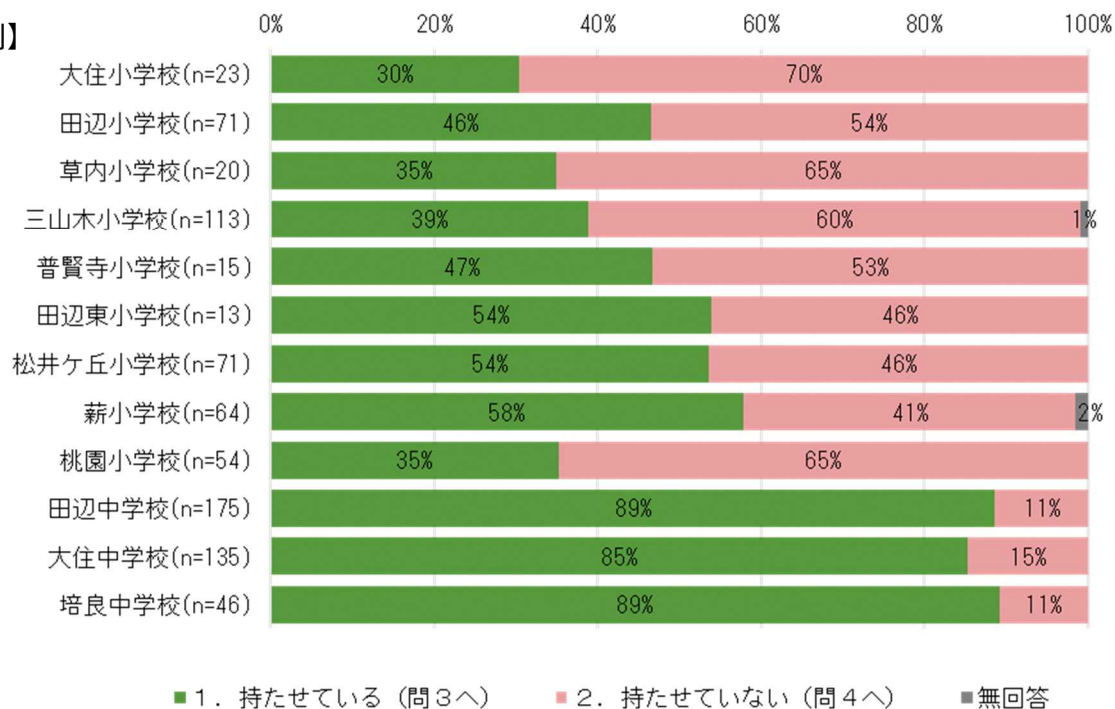
「持たせている」が64%と多数であり、「持たせていない」は36%だった。

小学校では「持たせている」は45%と半数以下となっているが、中学校では「持たせている」は87%で大半を占めている。

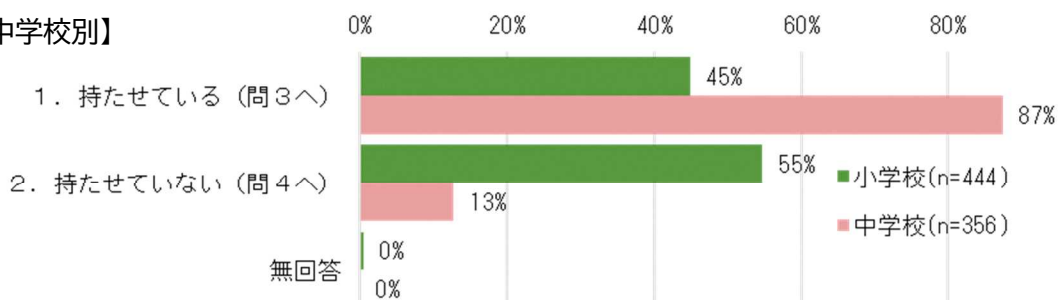
問2 携帯電話やスマートフォンを持たせているか (n=800)



【学校別】



【小中学校別】

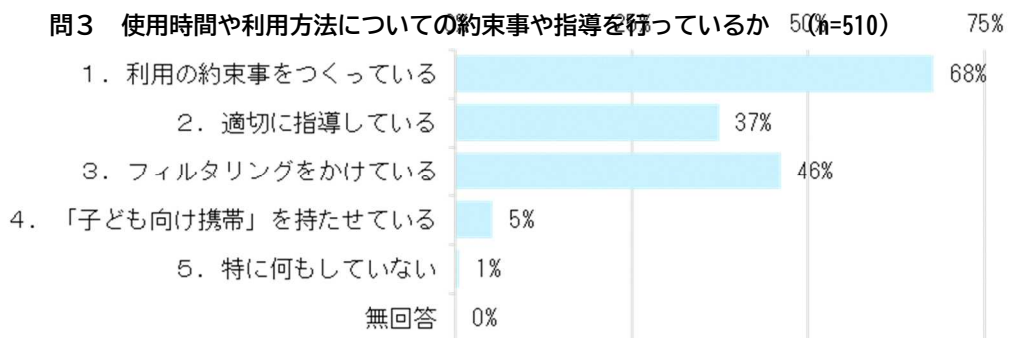


問3 使用時間や利用方法についての約束事や指導を行っているか

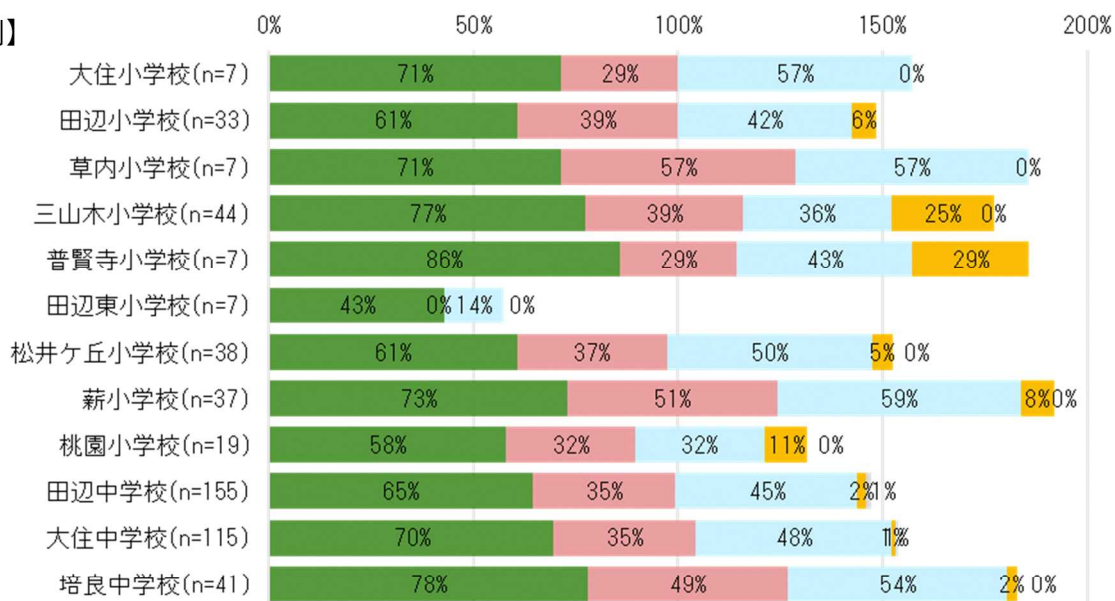
問2で「1持たせている」を選んだ方は、使用時間や利用方法について約束事や指導を行っていますか。(あてはまるもの全て選択)※

「利用の約束事をつくっている」(68%)が最も多く、次いで「スマートフォンのフィルタリングをかけている」(46%)、「子どもの携帯電話やスマートフォンの利用時間、利用料金、利用サイトなどを適切に指導している」(37%)と、利用について何らかの対応をしていることがわかった。「特に何もしていない」(1%)はごく少数だった。

小中学校別でも同様の傾向だが、小学校では「インターネット閲覧機能がない「子ども向け携帯」を持たせている」(11%)の回答がみられた。

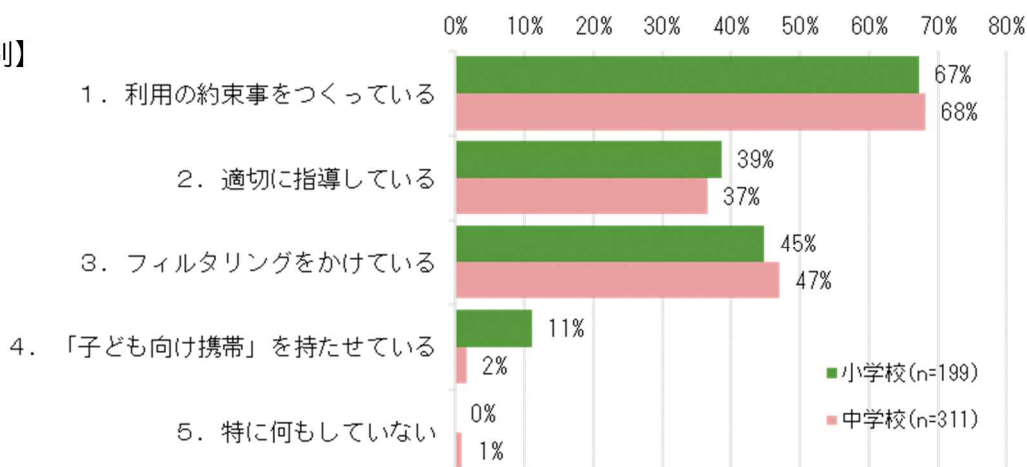


【学校別】



- 1. 利用の約束事をつくっている
- 2. 子どもの携帯電話やスマートフォンの利用時間、利用料金、利用サイトなどを適切に指導している
- 3. スマートフォンのフィルタリングをかけている
- 4. インターネット閲覧機能がない「子ども向け携帯」を持たせている
- 5. 特に何もしていない

【小中学校別】



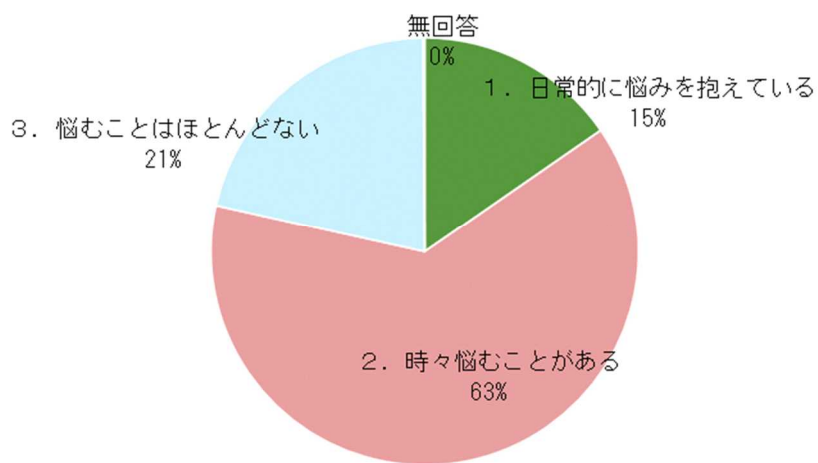
問4 お子さんに関して困ったり悩んだりすることはあるか

あなたは、お子さんに関して、困ったり悩んだりすることはありますか。(1つ選択)※

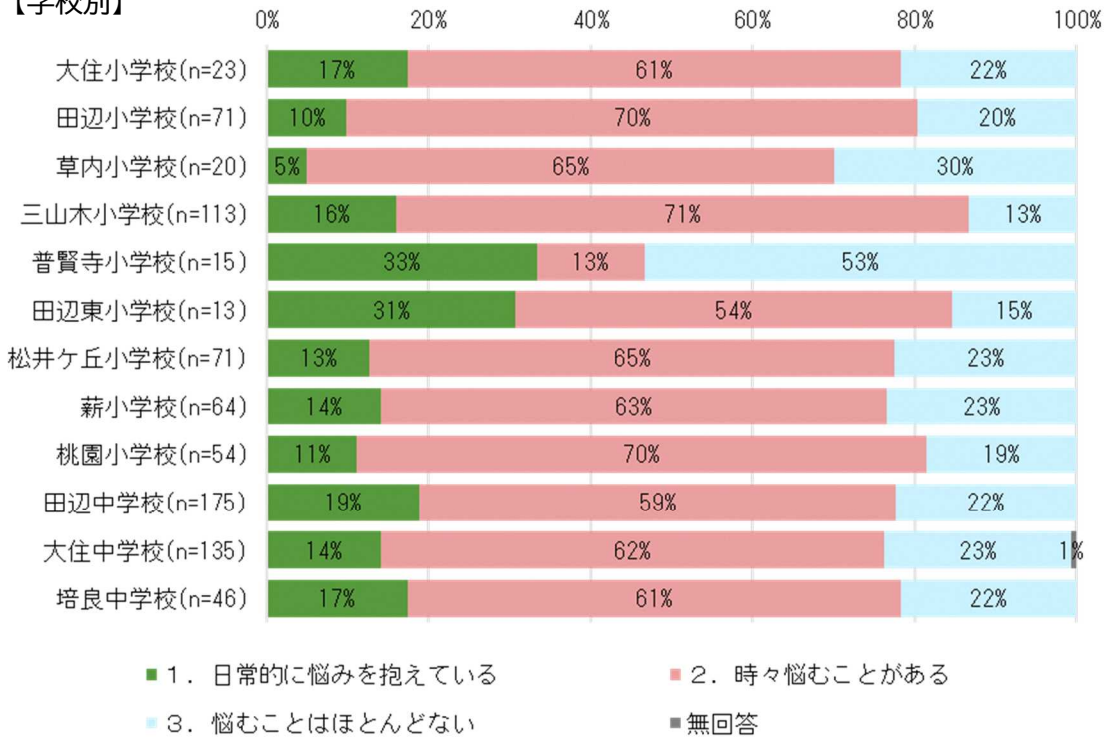
回答が多い順に、「時々悩むことがある」(63%)、「悩むことはほとんどない」(21%)、「日常的に悩みを抱えている」(15%)となった。子どもに関して悩んだりするとの回答が8割近くになっている。

小中学校別でも、大きな傾向に違いは見られなかった。

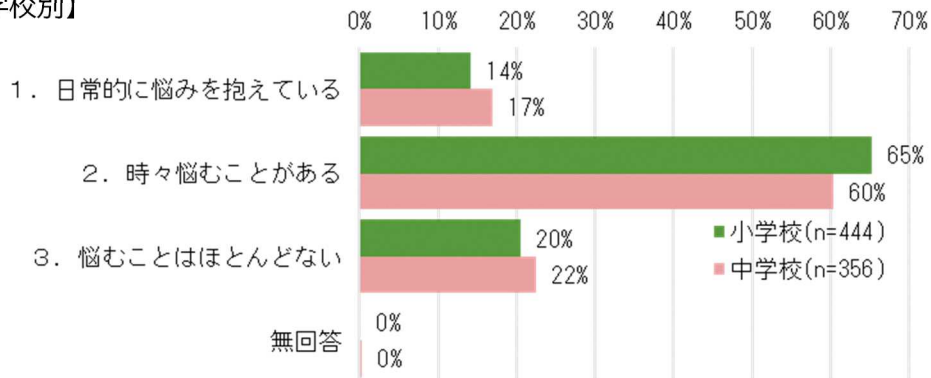
問4 お子さんに関して困ったり悩んだりすることはあるか (n=800)



【学校別】



【小中学校別】



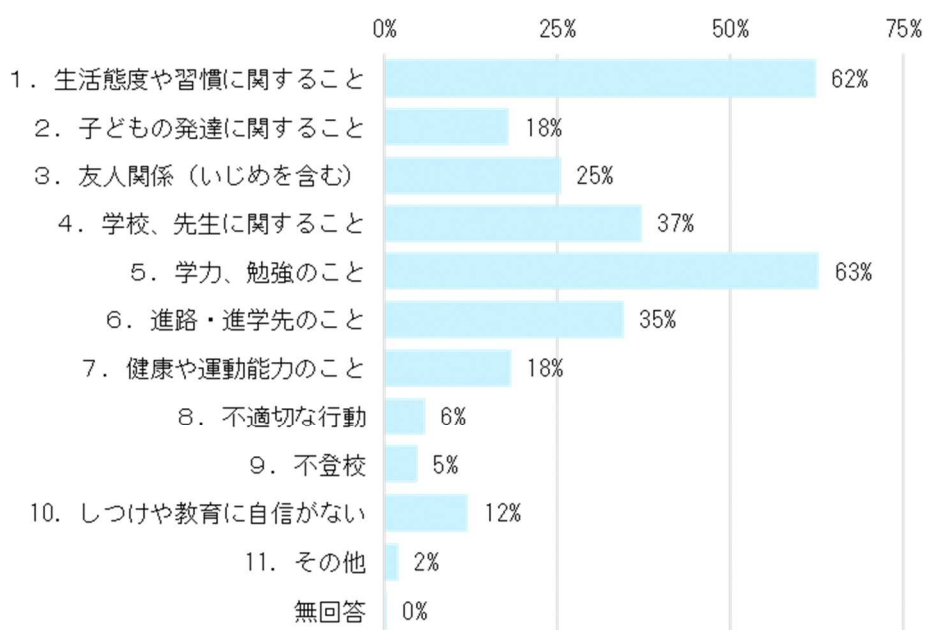
問5 困ったり悩んでいたたりすることは何か

問4で「1. 日常的に悩みを抱えている」または「2. 時々悩むことがある」と回答した方のみお答えください。あなたが困ったり悩んだりしていることは、次のうちのどれに当たりますか。(あてはまるもの全て選択)

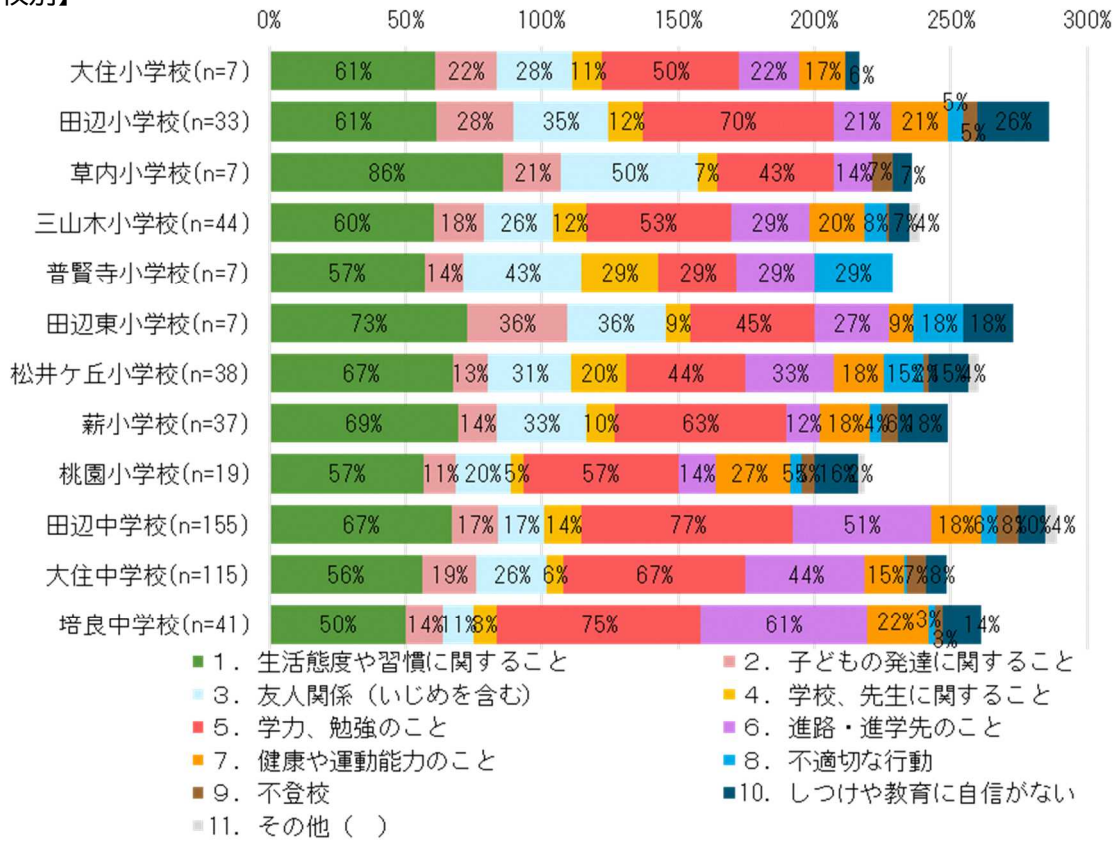
「学力、勉強のこと」(63%)と「生活態度や習慣に関すること」(62%)が多かった。次いで、「学校、先生に関すること」(37%)、「進路・進学先のこと」(35%)、「友人関係(いじめを含む)」(25%)が多くなっている。

小牛学校別では、中学校で「学力、勉強のこと」「進路・進学先のこと」が、小学校より多くなっている。

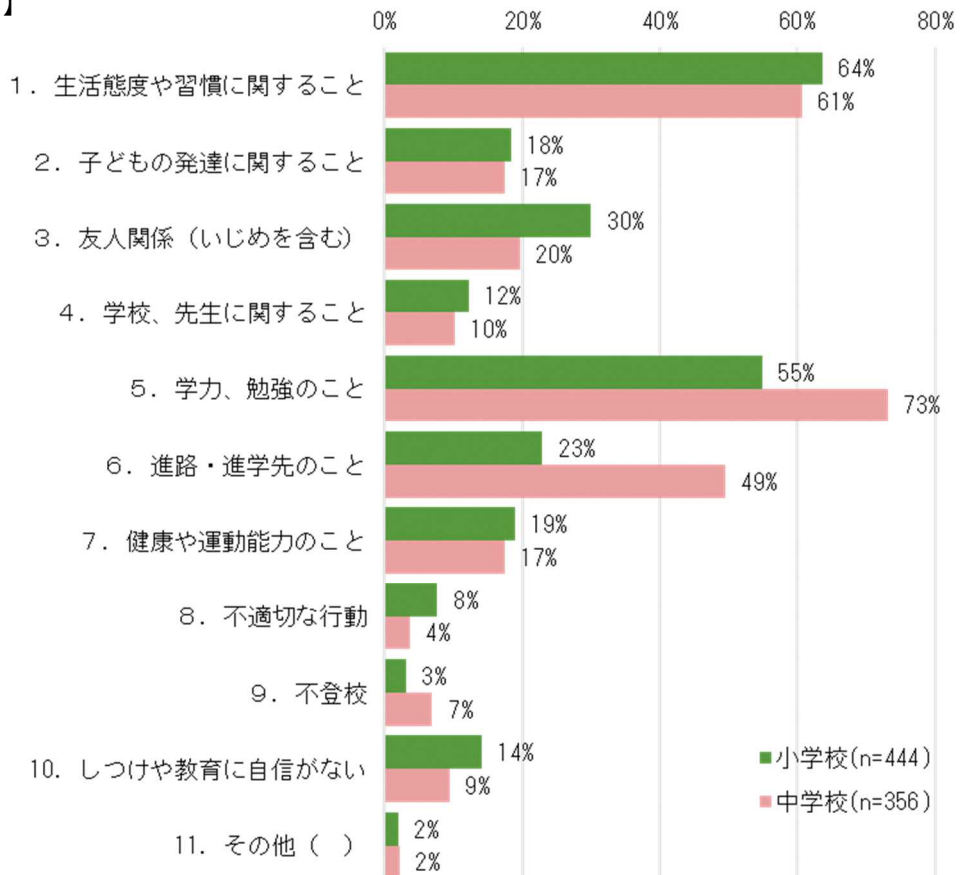
問5 困ったり悩んでいたたりすることは何か (n=628)



【学校別】



【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【性格・性質】

- ・うそをつく
- ・思春期
- ・性格について
- ・反抗期
- ・不登校にまでいたってないが登校前に吐き気などの症状が現れる
- ・忘れ物、時間にルーズ、うっかりミス、聞いていたのにすっぽりと忘れてしまい、自分のしたいことに集中してしまうという傾向があります。

【食生活】

- ・食事
- ・偏食

【部活】

- ・部活動のこと（2件）

【その他】

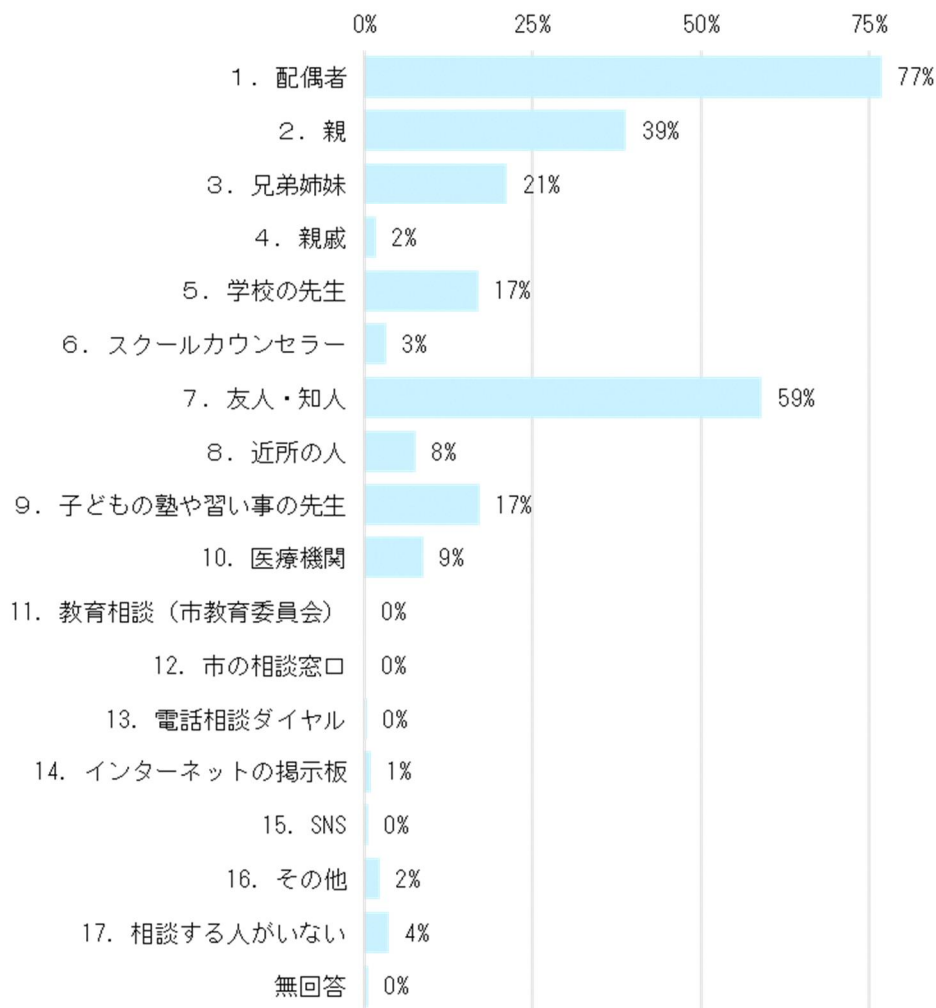
- ・突然の家庭環境の変化

問6 誰に相談するか

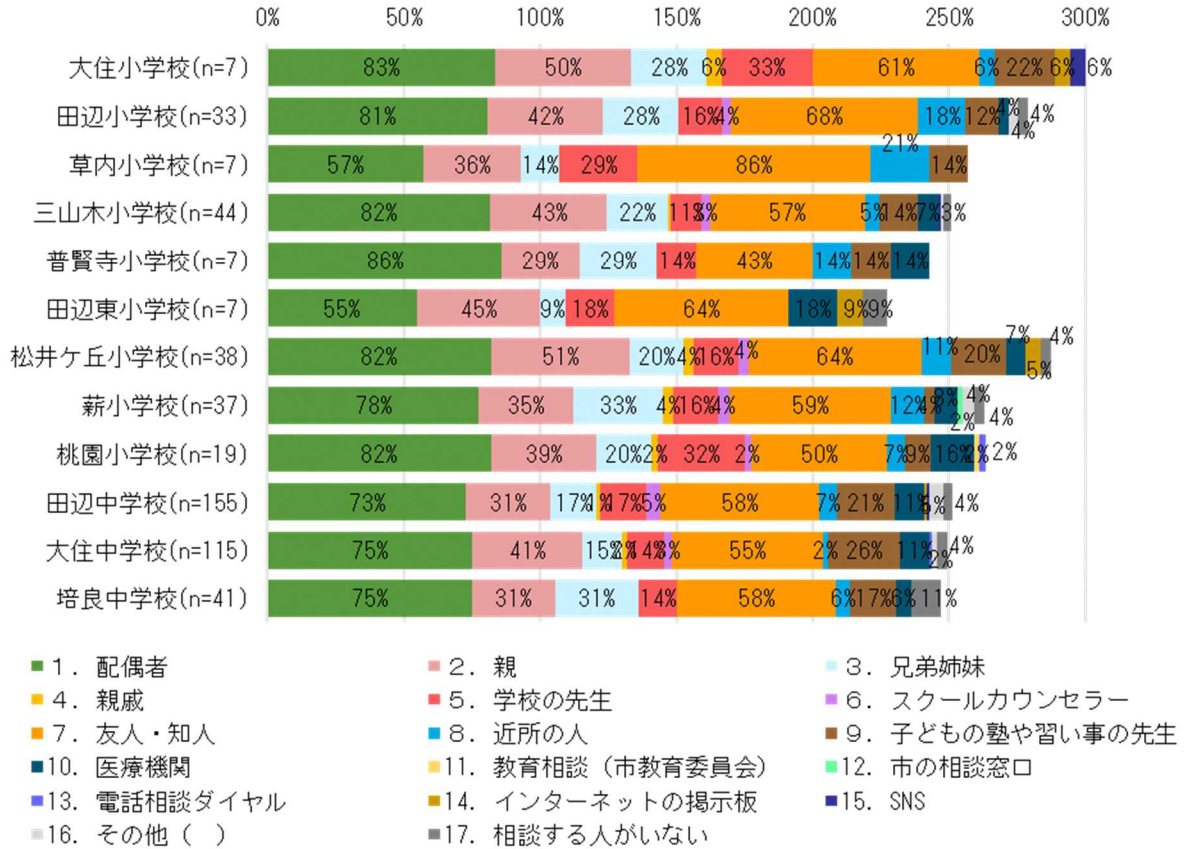
問4で「1. 日常的に悩みを抱えている」または「2. 時々悩むことがある」と回答した方のみお答えください。あなたは、困ったり悩んだりしていることを誰に相談しますか。(あてはまるもの全て選択)いない場合は17を選択してください。

相談相手は、「配偶者」(77%)、「友人・知人」(59%)、「親」(39%)、「兄弟姉妹」(21%)の順が多かった。小中学校別では、「子どもの塾や習い事の先生」が、中学校でやや多くなっている。

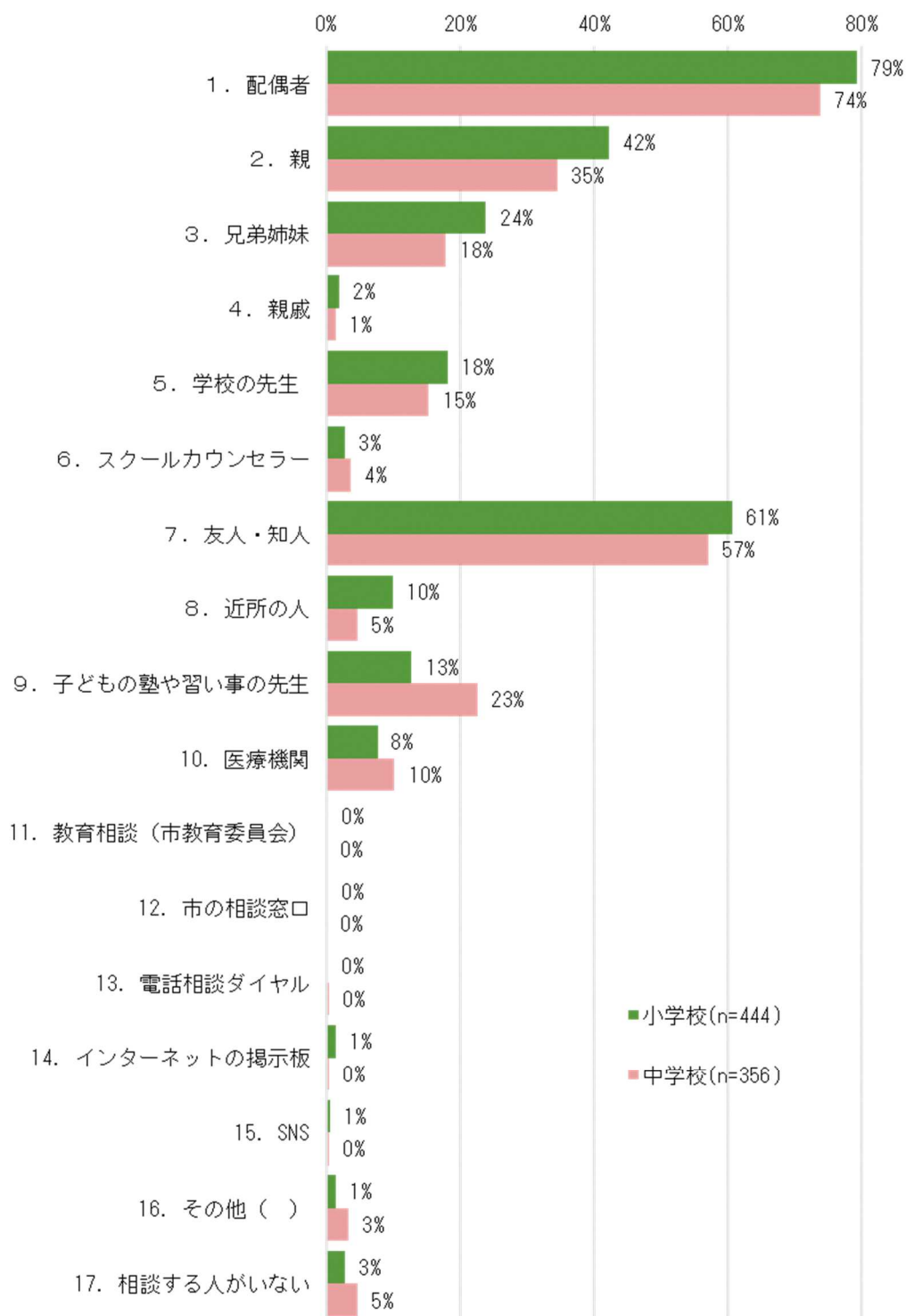
問6 誰に相談するか (n=628)



【学校別】



【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【仕事関係】

- ・職場の人
- ・職場の同僚
- ・職場

【専門機関】

- ・カウンセラー
- ・サポート城陽
- ・放課後等デイサービス

【各種団体】

- ・生涯学習団体（2件）

【家族】

- ・子供の姉、兄
- ・長女

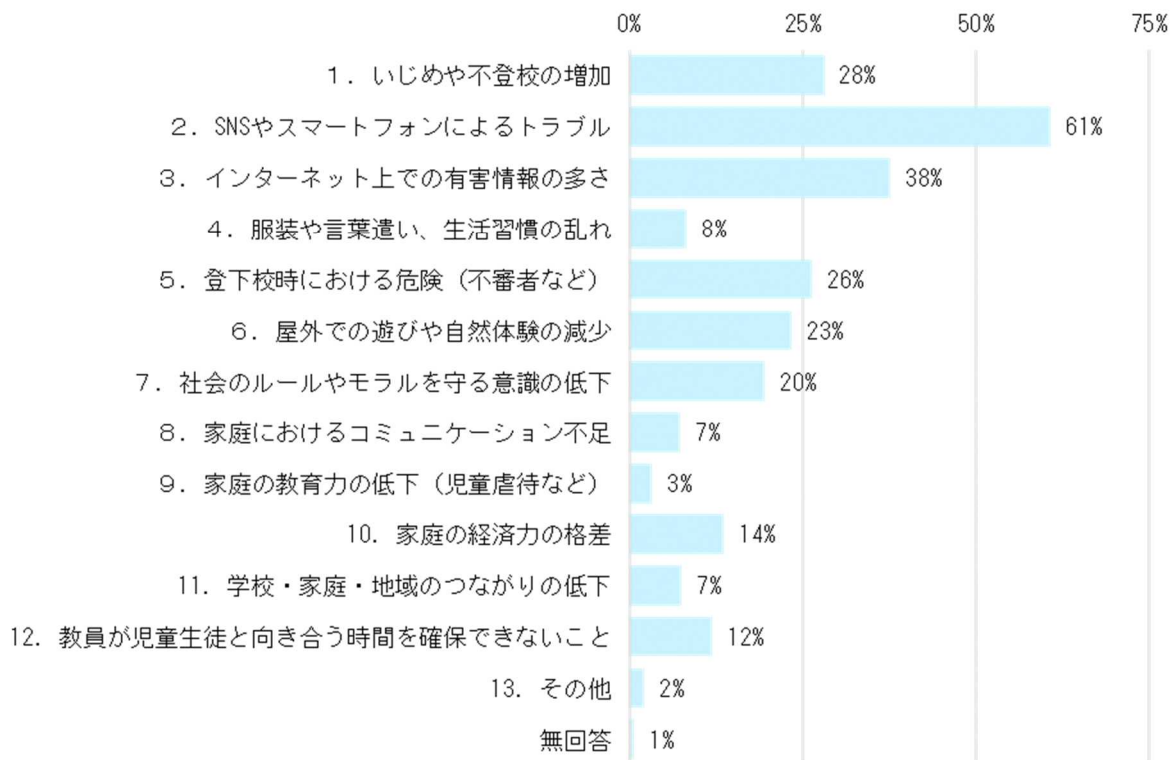
問7 子ども達が成長していくうえで問題だと感じること

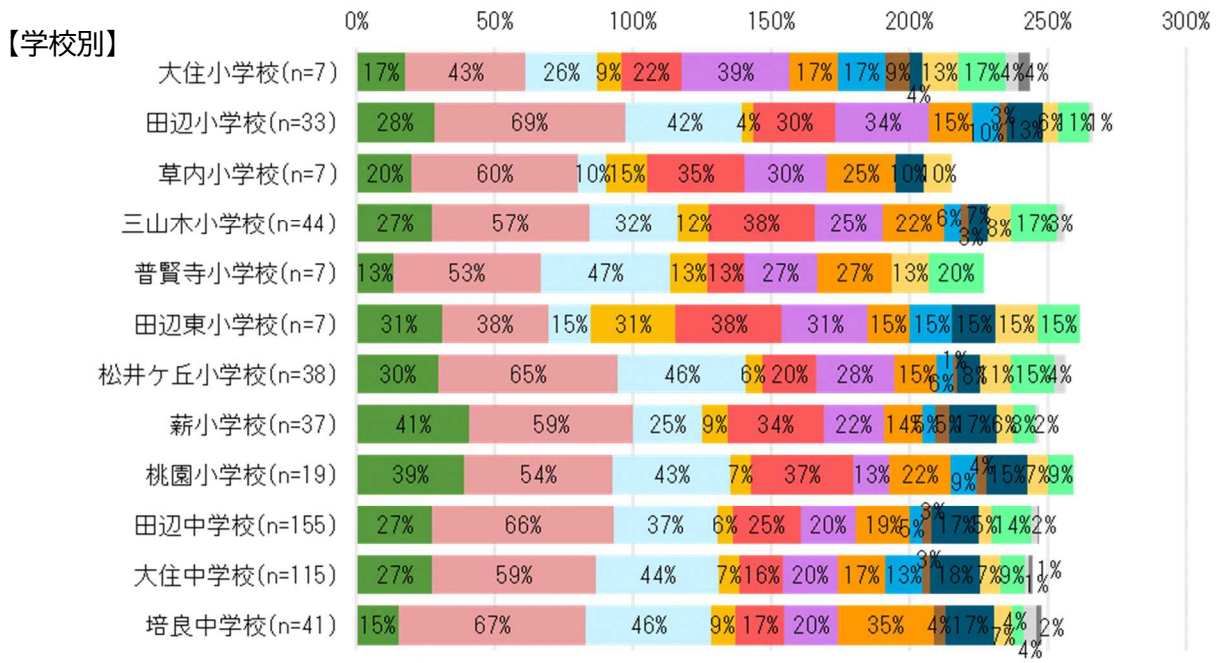
京田辺市の子ども達が成長していくうえで、最近、社会において特に問題だと感じることはどのようなことですか。(3つまで選択)※

「SNS やスマートフォンによるトラブル」(61%)が最も多く、次いで、「インターネット上での有害情報の多さ」(38%)、「いじめや不登校の増加」(28%)の順で多かった。

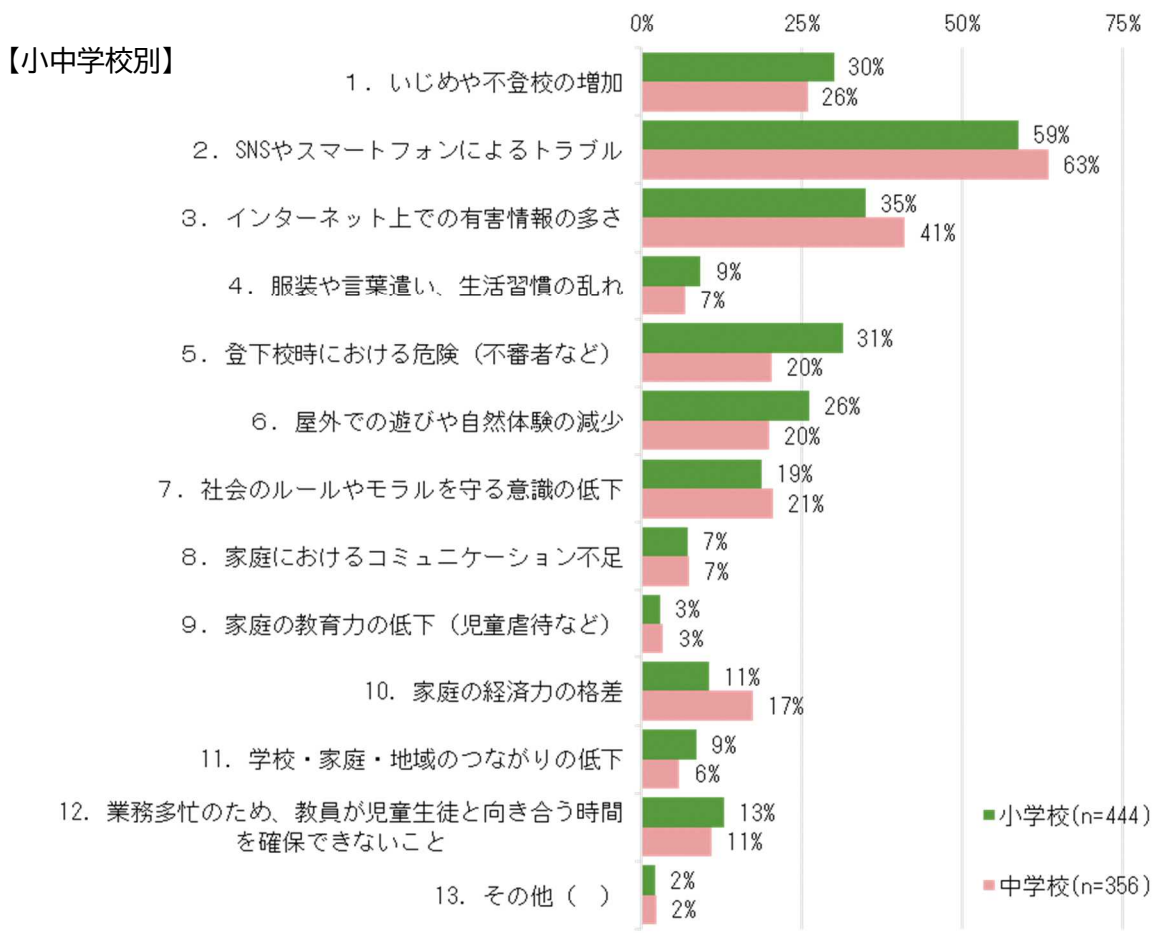
小中学校別では、小学校で「登下校時における危険(不審者など)」(31%)が、やや多くなっている。

問7 子ども達が成長していくうえで問題だと感じること (n=800)





- 1. いじめや不登校の増加
- 2. SNSやスマートフォンによるトラブル
- 3. インターネット上での有害情報の多さ
- 4. 服装や言葉遣い、生活習慣の乱れ
- 5. 登下校時における危険（不審者など）
- 6. 屋外での遊びや自然体験の減少
- 7. 社会のルールやモラルを守る意識の低下
- 8. 家庭におけるコミュニケーション不足
- 9. 家庭の教育力の低下（児童虐待など）
- 10. 家庭の経済力の格差
- 11. 学校・家庭・地域のつながりの低下
- 12. 業務多忙のため、教員が児童生徒と向き合う時間を確保できないこと
- 13. その他（ ）
- 無回答



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【教職員の働き方】

- ・学校環境(文科省の規定クラス数をオーバーしていること、人数が多すぎる。教員不足(全国的に)
- ・教員不足。
- ・先生が忙しそうで、気の毒です。ひいては子への教育につながるので、先生の QOL を確保できる環境を整えてほしい
- ・他企業のように就業時間はシフト制。チーム制でどの時間でも対応できるよう臨時ではなく正規の教員を大幅に増やすべきではないでしょうか。

【通学路】

- ・通学路の危険
- ・二車線の狭い道があり自転車は危ない

【教育の質】

- ・タブレット活用の少なさ
- ・学校教育の質の低下

【子どもの居場所】

- ・こどもが安心してありのままにいられる場所がない。

【子どもの支援】

- ・支援が必要なお子さんの増加

【教育格差】

- ・低所得家庭は頻りに給付金や支援があるけど少しでも低所ラインを超えると一切支援がなく中間層の子供は塾にすら行けず、低所得と高所得家庭の子供と中間層の子供で格差ができています

【その他】

- ・習い事の必要性
- ・日本の衰退と言っても過言ではないほどの経済状況の悪化、急激な少子高齢化、政治を筆頭に社会のモラルハザード
- ・食べものの粗悪化

【特になし・わからない】

- ・わからない
- ・特になかったのをこの選びました
- ・特になし

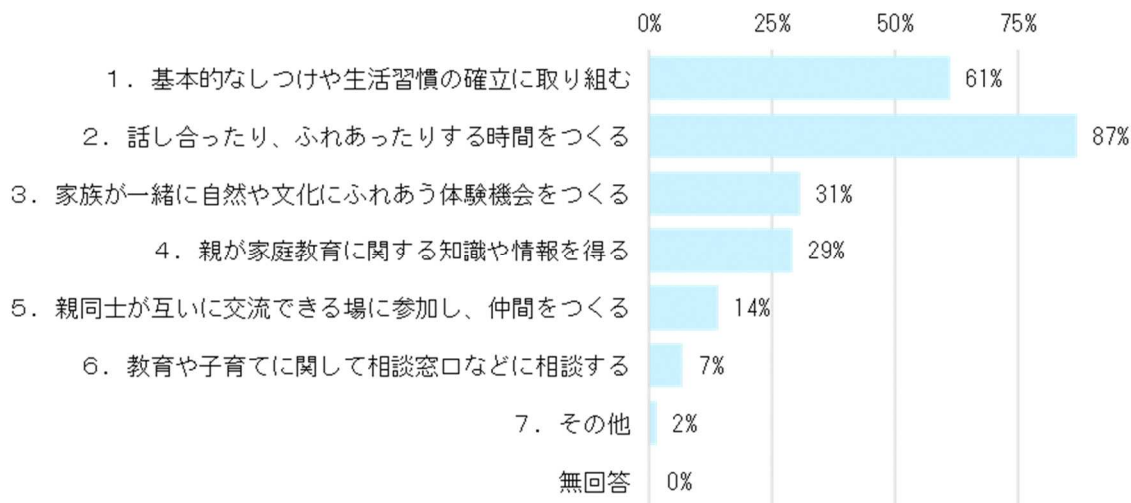
問8 家庭での教育力を高めるための取組

家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取組が必要だと思われますか。(3つまで選択)※

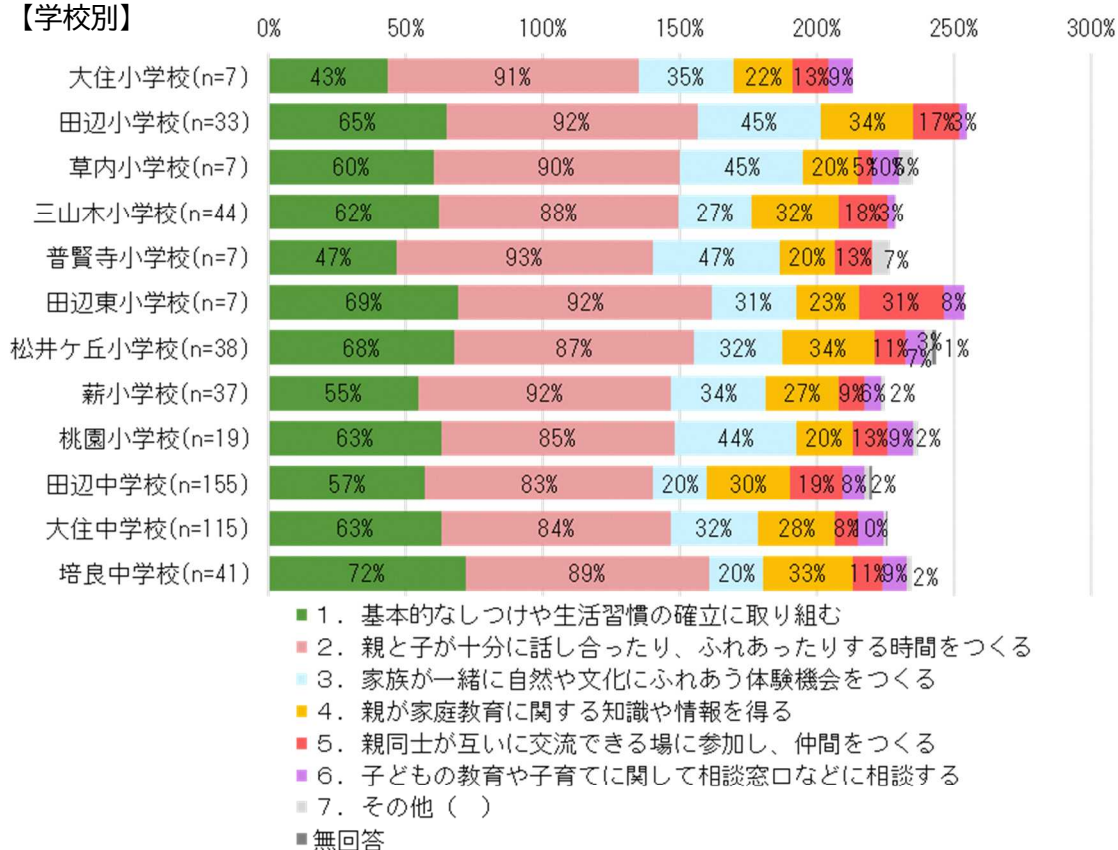
「親と子が十分に話し合ったり、ふれあったりする時間をつくる」(87%)が最も多く、次いで「基本的なしつけや生活習慣の確立に取り組む」(61%)、「家族と一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる」(31%)、「親が家庭教育に関する知識や情報を得る」(29%)の順で多かった。

小中学校別でも、大きな傾向の違いは見られなかった。

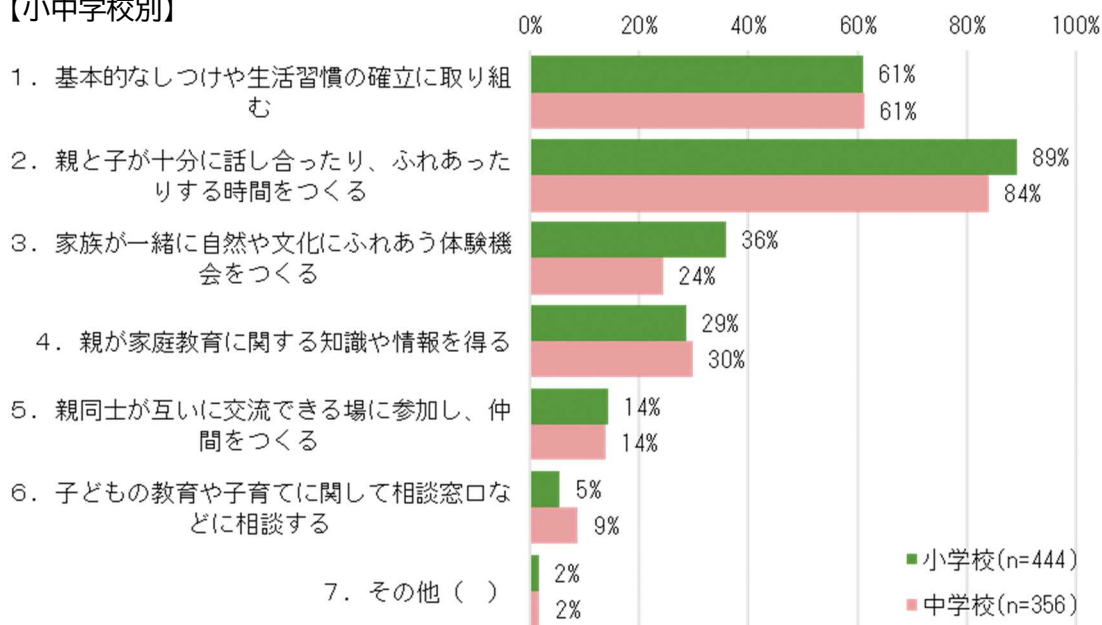
問8 家庭での教育力を高めるための取組 (n=800)



【学校別】



【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【親としてできること】

- ・愛のある厳しさ(嫉、親が先回りし過ぎない、考えさせる、困難を乗り越えさせる経験)
- ・親の過重労働を減らす(社会の問題)
- ・親の教養の底上げ
- ・親の自己教育、自己認識、親から子へあたたかい言葉がけをすること
- ・親自身が心も身体も健康でなければ、家庭教育の向上にはつながりません。親を取り巻く環境を整えること。経済的、物理的、精神的な支えの充実があってこそ取り組みに積極的になります。設問が少しずつれているように感じます。親が子どもとの時間を取りたくても取れないで悩んでいる親もいます。設問内容によっては、親が傷つきます。親支援が子どもの支援につながるため、家庭での取り組みの提案よりも、家庭が取り組めるような環境づくりに力を入れてください。

【学習方法】

- ・タブレットで宿題させる

【学校】

- ・学校と保護者の情報共有

【その他】

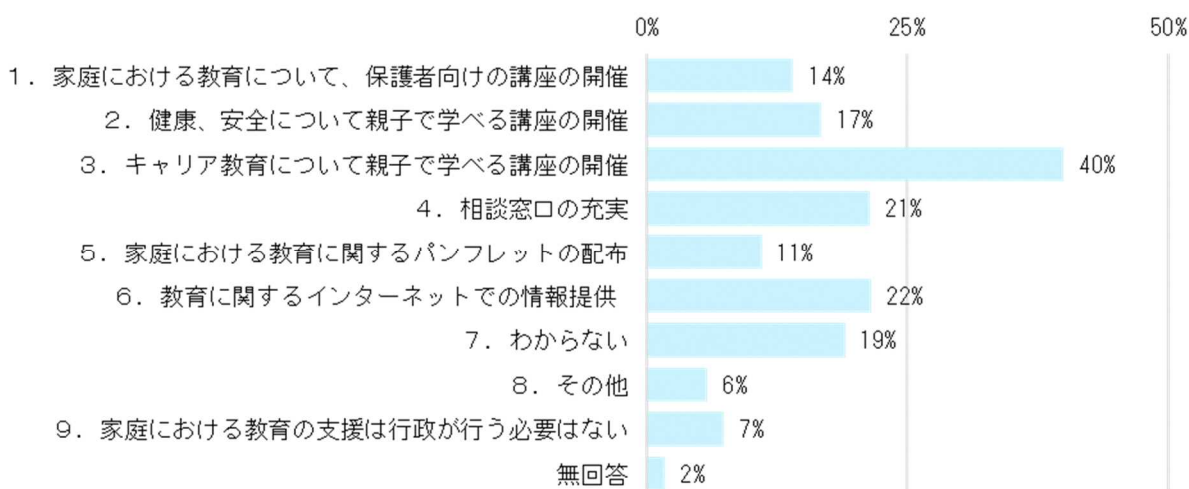
- ・思春期の子に寄り添える教育援助の取り組み
- ・クラスが授業中騒がしい、先生の声が聞こえない。休み時間にも先生の目の届かない所で嫌がらせがある。
- ・わかりません、教えて欲しいです

問9 家庭における教育で、行政に支援を期待すること

あなたは、家庭における教育で、行政に支援を期待することは何ですか。(3つまで選択) ない場合は9を選択してください。

「キャリア教育(将来の進路、職業など)について親子で学べる講座の開催」(40%)が最も多く、次いで「家庭における教育に関するインターネットでの情報提供」(22%)、「相談窓口の充実」(21%)が多かった。

問9 家庭における教育で、行政に支援を期待すること (n=800)

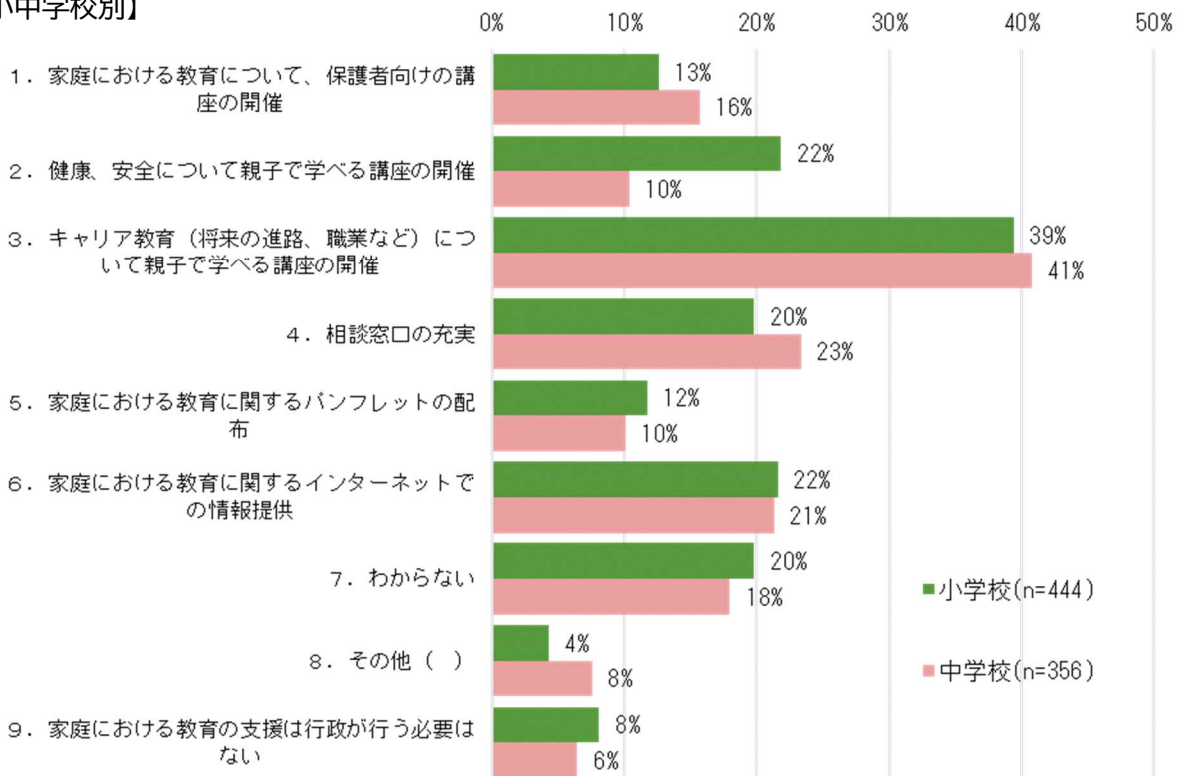


【学校別】



- 1. 家庭における教育について、保護者向けの講座の開催
- 2. 健康、安全について親子で学べる講座の開催
- 3. キャリア教育（将来の進路、職業など）について親子で学べる講座の開催
- 4. 相談窓口の充実
- 5. 家庭における教育に関するパンフレットの配布
- 6. 家庭における教育に関するインターネットでの情報提供
- 7. わからない
- 8. その他（ ）
- 9. 家庭における教育の支援は行政が行う必要はない
- 無回答

【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【経済的支援】

- ・金銭的、時間的、精神的余裕の拡充
- ・金銭的な援助（3件）
- ・金銭的支援（2件）
- ・金銭面での支援、給食費無償化など、それによって家庭では郊外活動に回せる余力ができるため
- ・経済的な支援（2件）
- ・経済的支援、学習サポートは本当にありがたいです。
- ・資金援助
- ・補助金の拡充(塾など)

【子育ての支援】

- ・子どもが小さいうちは親が子どもとの時間を優先しても経済的に困らない支援
- ・子育て手当

【学校指定服の支援】

- ・学費以外にかかる費用の軽減。制服・体操服など学校指定の服は同等の市販品と比べると明らかに高額である。指定服は卒業後にあきらかに不要になるものであり、SDGS の観点からも逆行していると感じる。また学校関係者と指定服の卸業者との癒着としか思えない。

【家庭環境の支援】

- ・時間や環境的な余裕
- ・社会を変える子供と関わる人を増やせるように、会社の就業時間をかえる
- ・幼児期の7年が人生のベースになるので、親と子、またはその時期の子どもが、たっぷり自然の中で体を使って喜びを感じる環境作り。それが、親が子から学んで親になっていく場所になる。

【教育にかかる費用の支援】

- ・学習能力をあげる(中学受験ではなく)ための塾費用の補助
- ・教育支援金の普及
- ・教育費
- ・家庭教育を充実させるために児童手当の拡充をお願いします。
- ・塾費用の補助。有料学習支援アプリの無償提供。卒業生による高校紹介(進路に関する情報が無さ過ぎ。先生からでなく、先輩のリアルな声を聞く機会を設けてほしい)
- ・中間層にも給付金や修学支援など行って欲しい。このままでは高校にすら行かせてあげられません。
- ・学業への金銭面での支援

【教育の支援】

- ・学べる場所の整備。今は保護者も仕事で忙しく、学校の学習内容でさえサポートできないことが多い。
- ・学校教育をもっともっと上げる事に力を注いで頂きたい。松井ヶ丘小においては家庭での教育のおかげ学力が高く保持されている。ICT の環境においても周りの地域より質が悪い。
- ・塾費用の補助。有料学習支援アプリの無償提供。卒業生による高校紹介(進路に関する情報が無さ過ぎ。先生からでなく、先輩のリアルな声を聞く機会を設けてほしい)
- ・無償の学習塾
- ・無料塾など学校外学習支援
- ・経済的支援、学習サポートは本当にありがたいです。

【学校との連携】

・学校との状況交換、把握、連携

【子どもの健康に関する支援】

・乳児、幼児の検診のように、小学生1年検診などを作り、必要なことを学べる機会を作る

【体験等の支援】

- ・体験できる行事やイベント等
- ・中学校での、いろいろな職業体験等
- ・論語や茶道教室などあったら良いなと思う

【相談機会の支援】

・親同士が気軽に相談交流できる場

【通学時の支援】

・通学方法の見直しや補助の創設

【その他支援】

- ・所得制限なく子供には平等に支援するべき。
- ・少年犯罪を犯した子たちの家庭環境や教育方法を聞いてみたい

【意見】

・まず、家庭における教育とは何を指すのかを明確にする必要があります。選択肢の内容から、家庭における教育とは、文科省では社会全体で支えあう家庭教育支援の取り組みを推進している」となっています。このことから、この設問や選択肢は考えた方が理解されてなかったのではないかと想像してしまいます。とても、狭義な選択肢になっており、意図的に誘導しているような気がして残念です。

・目先の支援ではなく、国全体の構造を変えていかなければ根本的な改善には繋がらないと感じます。

・有意義や講座があったとしても子どもは参加したがない。

・他府県の学校以外での学力向上への取り組みを参考にしてほしい。

【期待していない】

・行政が行う支援はあまり役立たない。

・逃げ腰対応の教員が昇格するような市に期待してない。無駄。

・行政に期待はしていない

・行政の支援はあてにならない

II お子さんの学校について

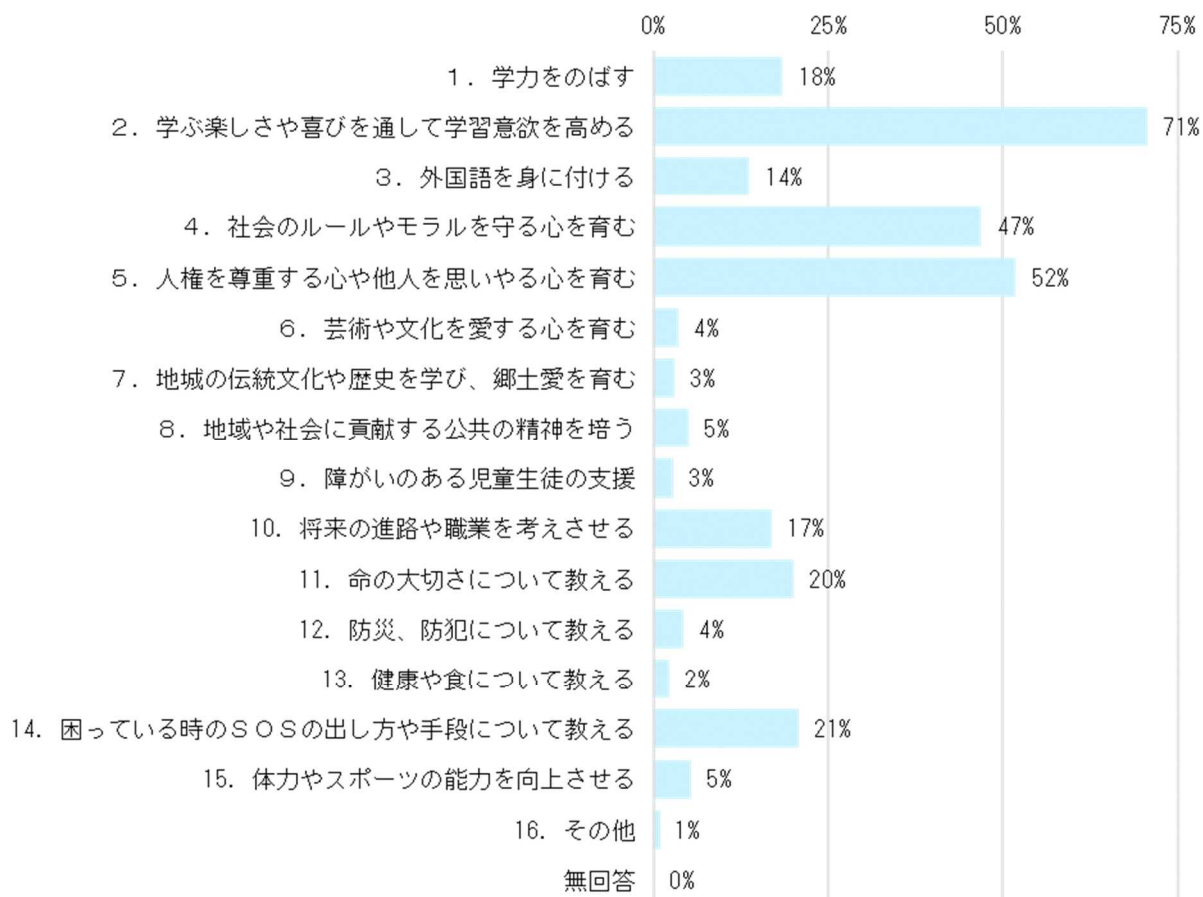
問 10 学校に期待する教育や指導は何か

お子さんの通っている学校に期待する教育や指導は何ですか。(3つまで選択)※

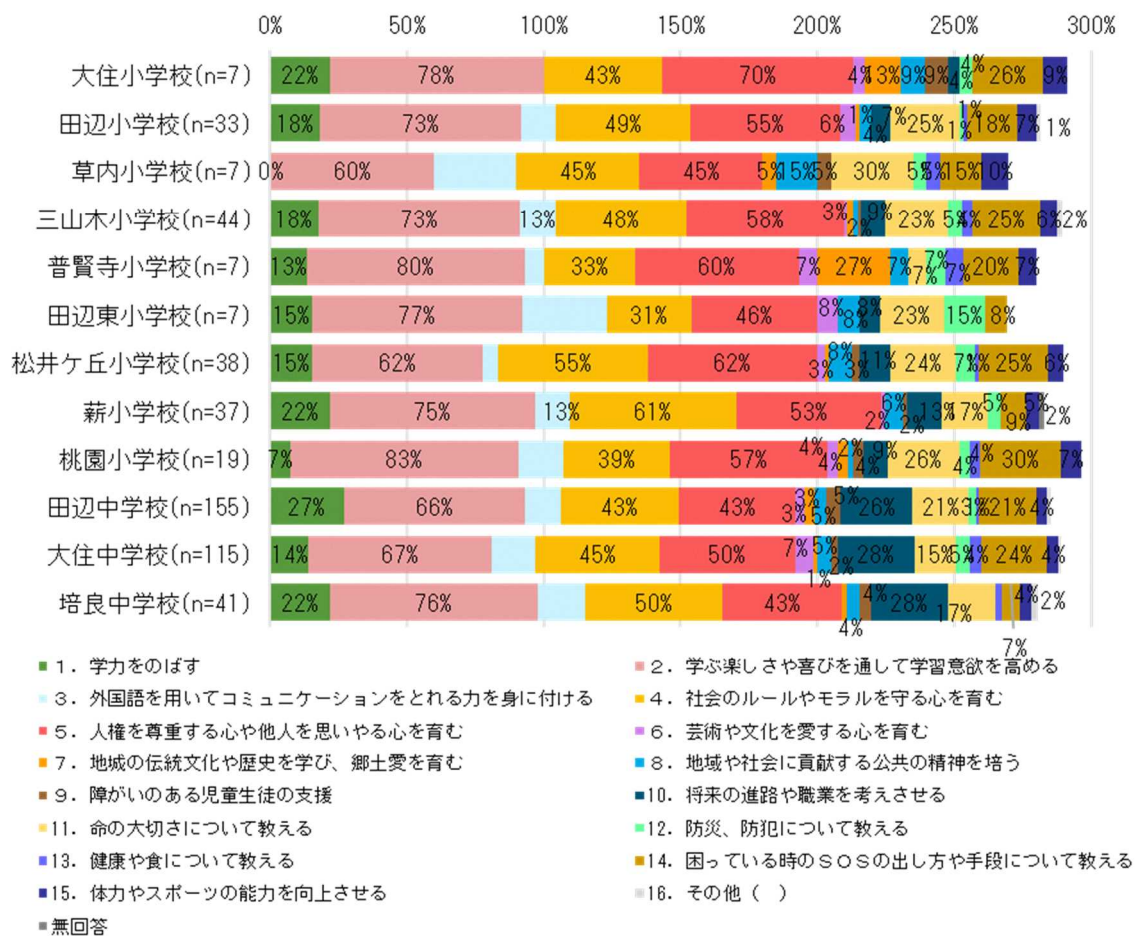
「学ぶ楽しさや喜びを通して学習意欲を高める」(71%)が最も多く、次いで、「人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む」(52%)、「社会のルールやモラルを守る心を育む」(47%)が多かった。

小中学校別では、小学校で「人権を尊重する心や他人を思いやる心を育む」(57%)の割合がやや高くなっている。

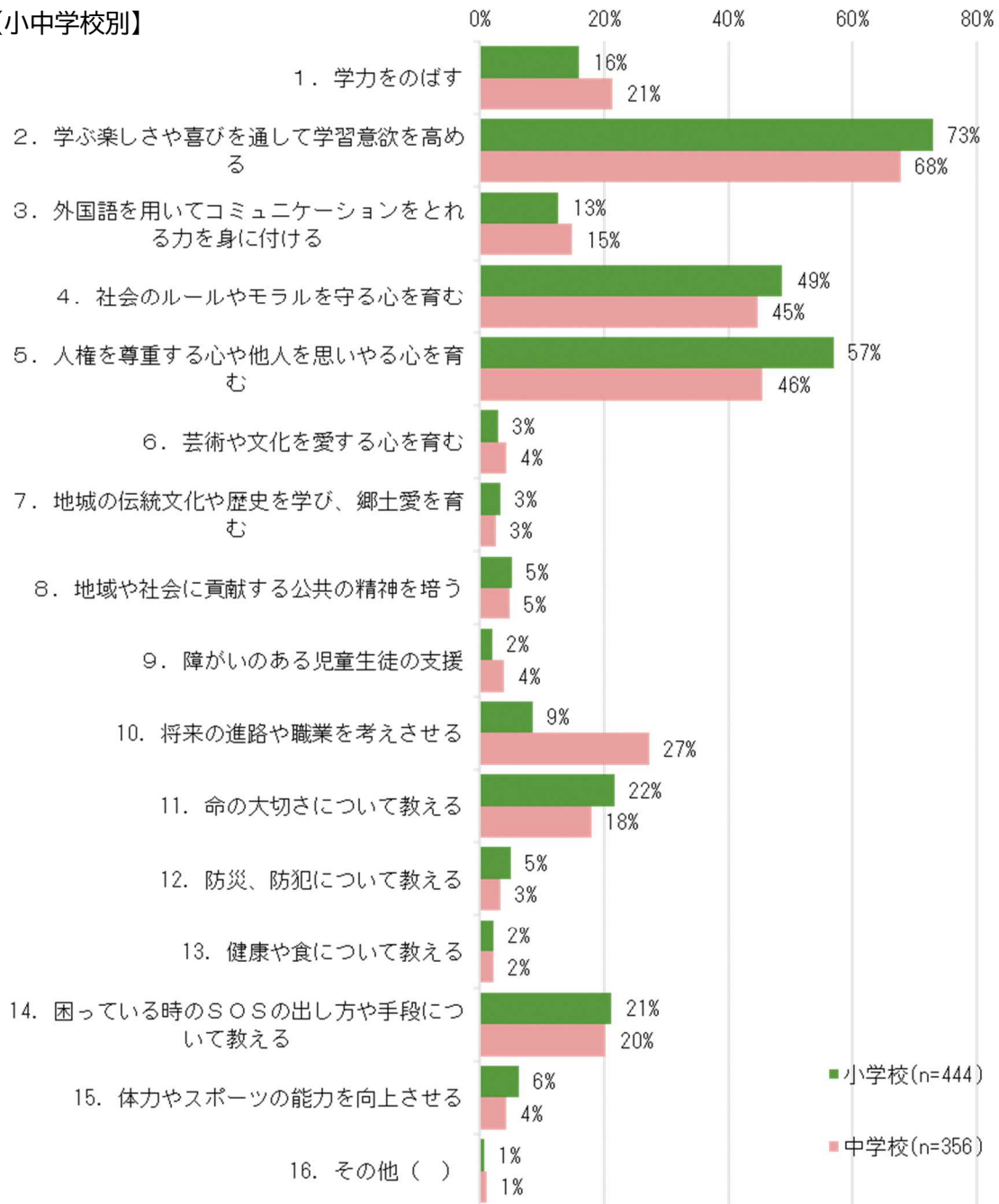
問 10 学校に期待する教育や指導は何か (n=800)



【学校別】



【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【授業形態】

・学びを止めないために学級閉鎖になったり出席停止になった時のためのオンライン授業

【子どもの個性を伸ばす】

・自分の特性を知る。多様性を知る。自分の能力を伸ばす力を身につける。

【教員やクラスメイトとの関係】

・楽しいことが共有できる仲間との出会い。人生のロールモデルになる教員との出会い。困ってもいい、失敗してもいいと感じられるように導いてくれる

・尊敬できるような先生との関わり合い

・同年代の友達と、仲良く遊ぶ

【社会への関心】

・政治的、社会的、当事者意識の確立

【その他】

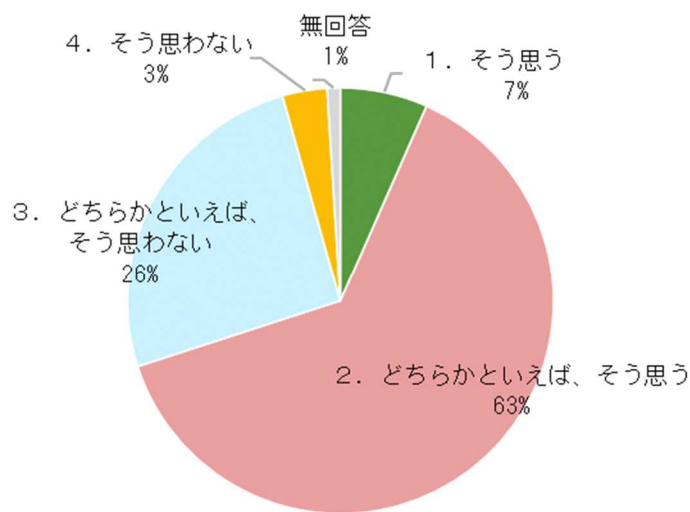
・三山木小の児童数がキャパオーバーしているので対策を

問 11 学校は期待に応えてくれると思うか

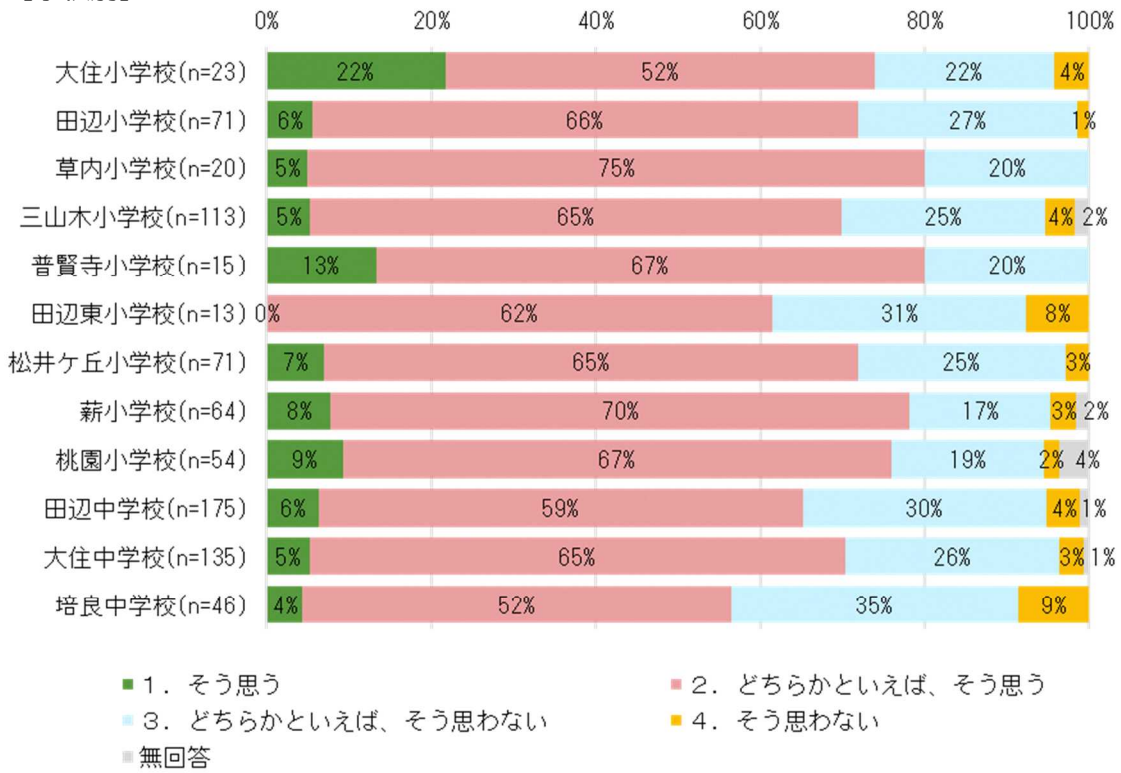
問 10 で選択した「学校に期待する教育や指導」についておたずねします。学校は、全体として期待に応えてくれていると思いますか。(1つ選択)

「そう思う」(7%)は少数だが、「どちらかといえば、そう思う」(63%)を合わせると、学校が期待にできていると思う割合は7割だった。一方で、「どちらかといえば、そう思わない」(26%)、「そう思わない」(3%)を合わせると3割だった。

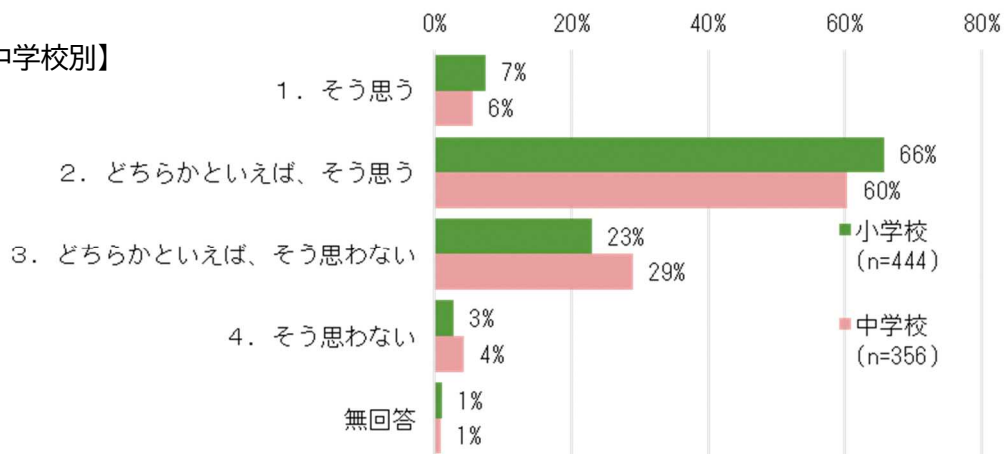
問 11 学校は期待に応えてくれると思うか (n=800)



【学校別】



【小中学校別】

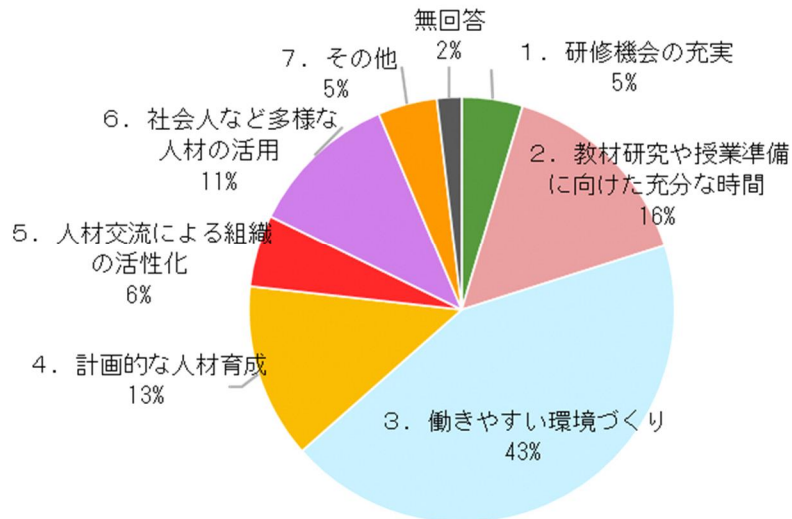


問 12 学校や教員には何が必要か

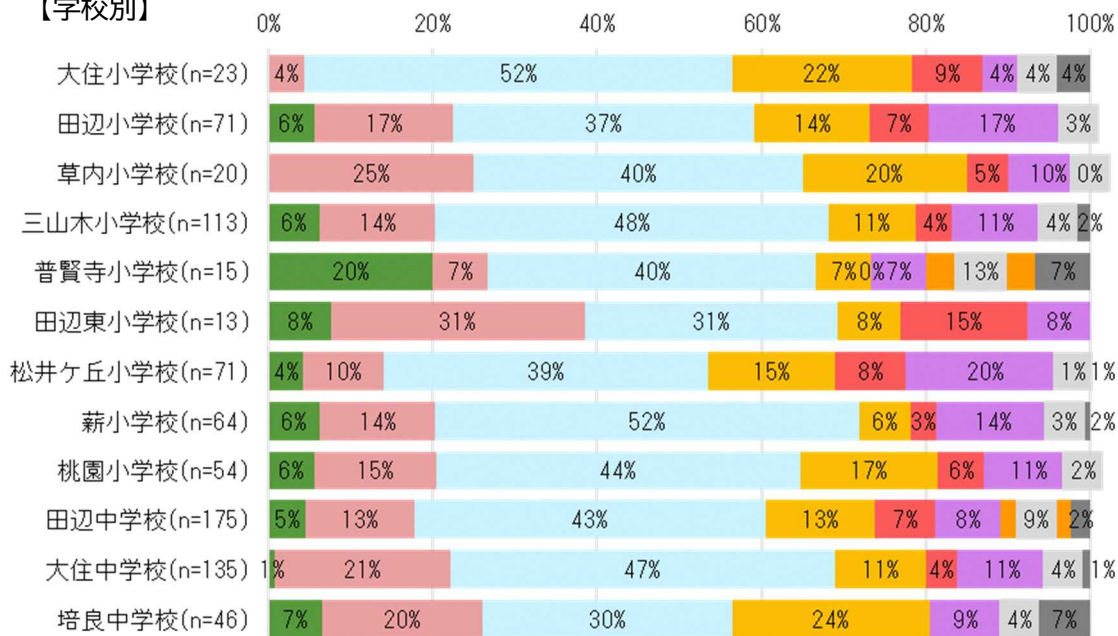
質の高い教育を提供するために学校や教員には何が必要だと思いますか。(1つ選択)

「働きやすい環境づくり」(43%)が最も多く、次いで、「教材研究や授業準備に向けた十分な時間」(16%)、「計画的な人材育成」(13%)、「社会人など多様な人材の活用」(11%)が多かった。

問 12 学校や教員には何が必要か (n=800)

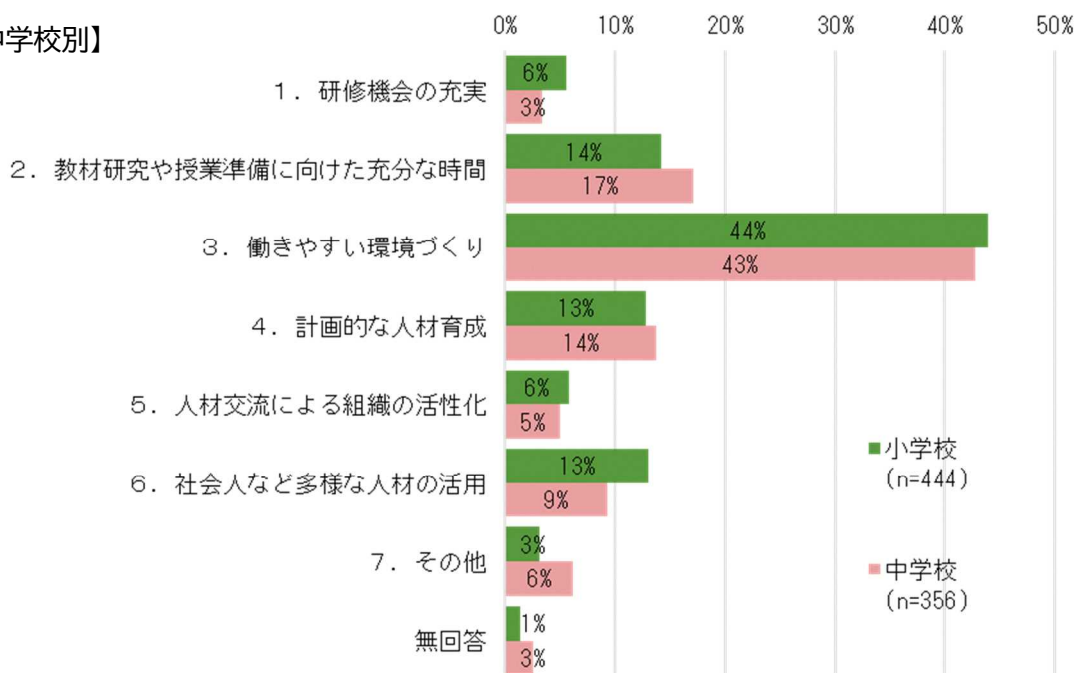


【学校別】



- 1. 研修機会の充実
- 2. 教材研究や授業準備に向けた十分な時間
- 3. 働きやすい環境づくり
- 4. 計画的な人材育成
- 5. 人材交流による組織の活性化
- 6. 社会人など多様な人材の活用
- 7. その他
- 無回答

【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【教員の時間や精神的なゆとり】

- ・時間や心の余裕。いつも忙しそうで、見たくても見きれないことがあると思いました。
- ・メリハリのある働き方(休暇等)
- ・教員の給与、福利厚生の実施を図り、教員採用の幅を広げる
- ・教員の適切な休み自分の時間を楽しむこと
- ・教員の負担軽減とサポート人員の配置
- ・先生にも休息を！
- ・先生方自身が学ぶ場に身を置くことは大切だと思います。私たちが小中高生のころの先生は、そこが熱かったし、それが保護者にも児童生徒にもちゃんと還元されていたと思います。自ら勉強会に参加し、学ぼうとしてくださっていた先生方は、人として尊敬できました。今の先生はなんだか忙しそうで気の毒です…。
- ・余裕(人員、勤務時間、勤務内容、賃金)
- ・不要な業務(課外活動やPTA関係の活動)および残業を減らし、教員の方も充実した生活を送っていただき余裕のある心で生徒と接することが必要だと思います。

【教員の増員】

- ・選択肢ですと、働きやすい職場のいうことになりましたが、これの実現にむけてはまず、教員の十分な確保と報酬が必要です。
- ・教員を増員し、負担を減らす
- ・人材の確保
- ・正規教員の増員
- ・人員を増やす
- ・労働時間と内容に見合った賃金支払い

【子どもとのかかわり方】

・コミュニケーション能力の低い教員が多く、特に中学校は10年以上異動がない教員が多数存在し、その教員が昔の指導から成長していないので、指導内容に不安を感じる。

・教師の質の向上

・柔軟な対応力

・人間性

・生徒一人一人に目が届いていない、子供が、先生を友達と勘違いしている

・責任感と他人の子を預かっているという自覚、精神年齢が未熟な先生が増えたな、と感じます。

・先生がたより親のサービスを楽しむだけの意識が問題

・勉強を教えるにあたって、塾の先生の指導法等研修してほしいです。子ども達が、塾の方が全然分かりやすいと言っていたので。

・子供たちに対する想い

・先生の一人一人に向かい合う時間の確保

・子どもへの愛情、一人の人間として接する態度や姿勢、言葉遣いなどを兼ね備えた教員

・この時代の子供たちの心境や直面している問題をよく理解する必要だと思えます。

・親身になれる心

【教育の工夫】

・生徒に合わせた個別性のある教育。

・Web授業に代えられる部分は代え、先生でなければできない部分に注力してほしい。

・多様な教育機会の確保。点数だけで評価しない。学校の特色を出せるよう、学校長の裁量でできることがたくさんあること、それを活用すること。

【クラスの人数】

・少人数クラス編成

・1学級の人数を25名程度に減らす

・学校の規模に合わせた生徒数

【部活】

・クラブ活動の外部委託、ゆる部活の創設

・基本的な社会人としての基礎

【その他】

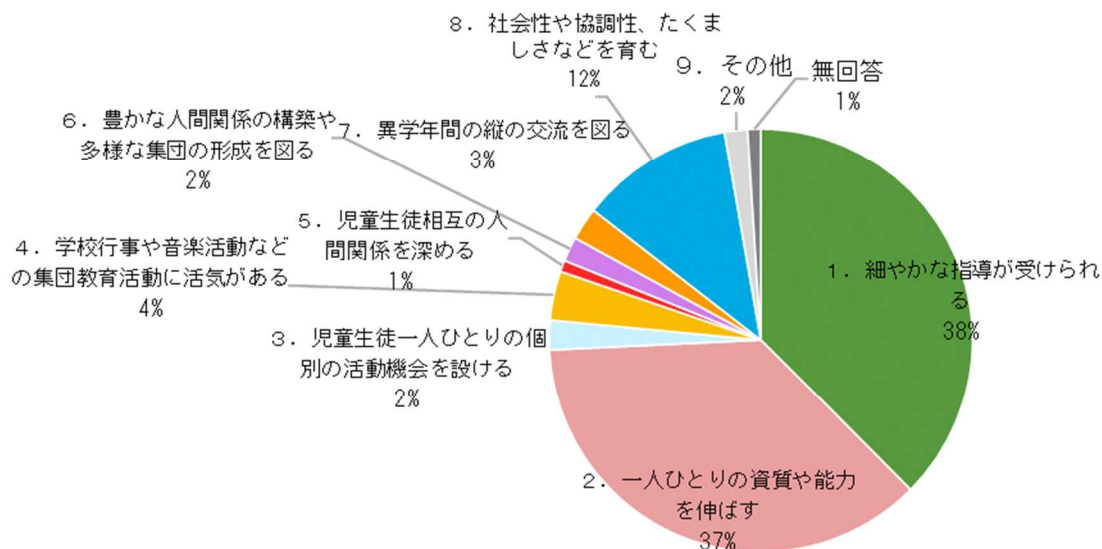
・わからない

問 13 教員の質を高めていくうえで、必要と思われること

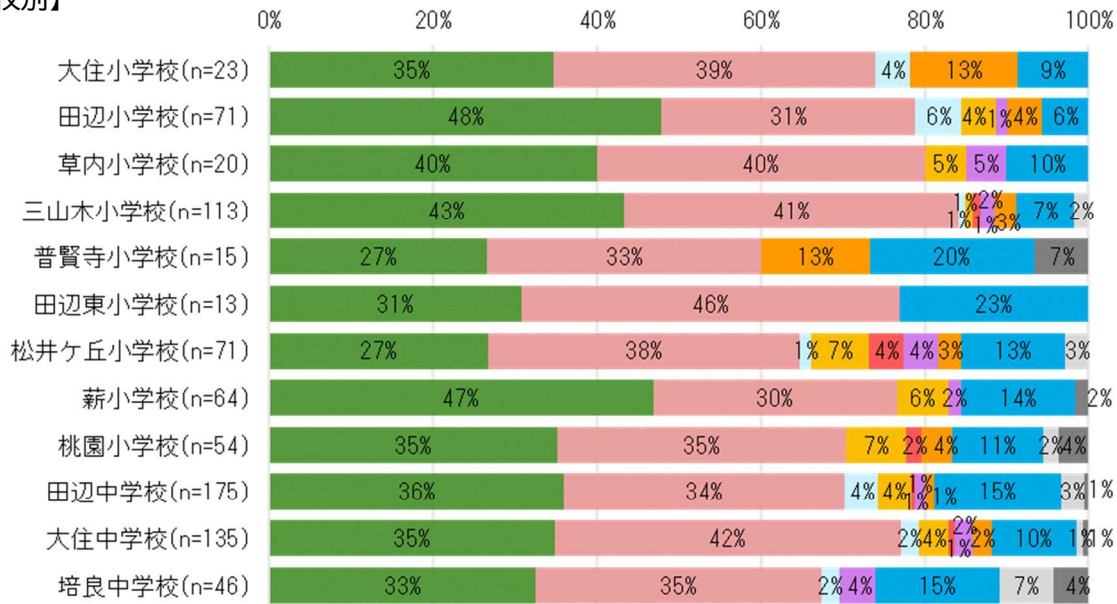
「持続可能な開発目標(SDGs)」では、教育に関する目標として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。主に学校教育において、今後、教育の質を高めていくうえで、必要と思われることは何ですか。(1つ選択)※

「細やかな指導が受けられる」(38%)、「一人ひとりの資質や能力を伸ばす」(37%)、「社会性や協調性、たくましさなどを育む」(12%)が多かった。

問 13 教員の質を高めていくうえで、必要と思われること (n=800)

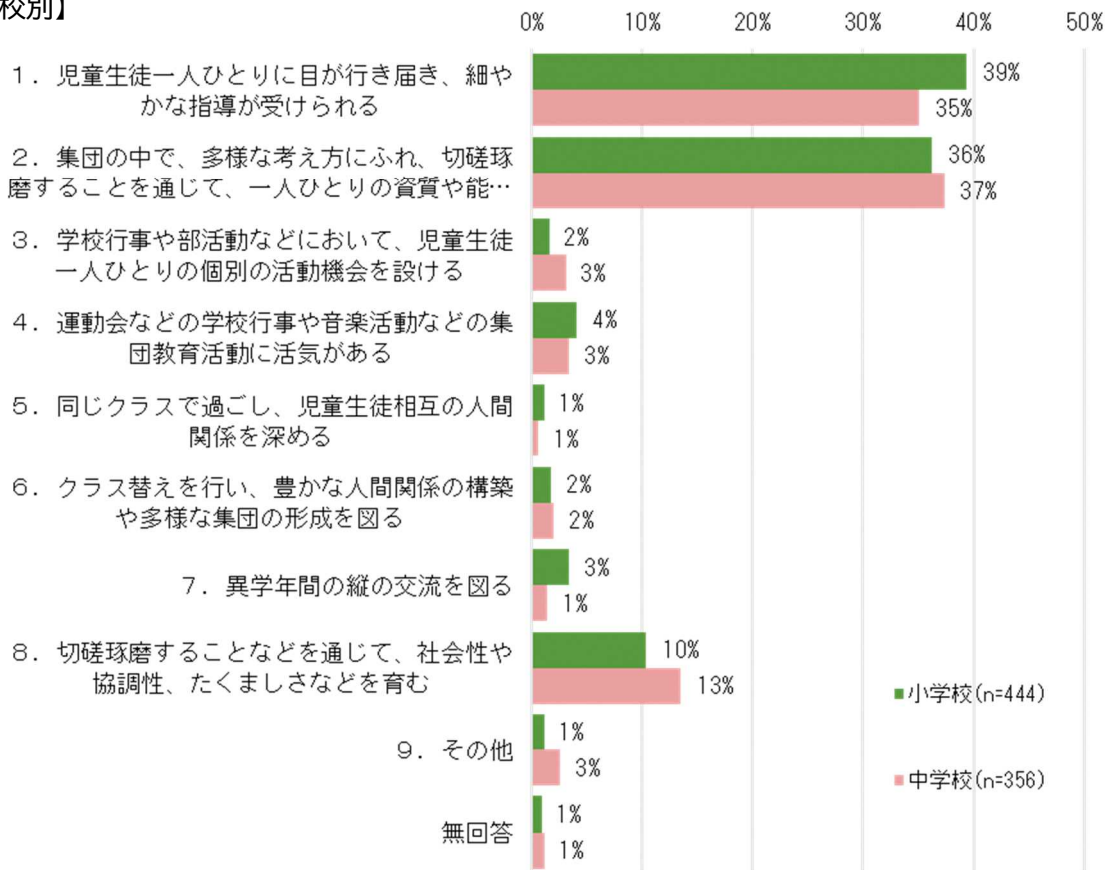


【学校別】



- 1. 児童生徒一人ひとりに目が行き届き、細やかな指導が受けられる
- 2. 集団の中で、多様な考え方にふれ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす
- 3. 学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりの個別の活動機会を設ける
- 4. 運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気がある
- 5. 同じクラスで過ごし、児童生徒相互の人間関係を深める
- 6. クラス替えを行い、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成を図る
- 7. 異学年間の縦の交流を図る
- 8. 切磋琢磨することなどを通じて、社会性や協調性、たくましさなどを育む
- 9. その他
- 無回答

【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

- ・みんなに…と言いつつ学力の低い子に合わせた授業をして、学力が高い子がさらに学力を高める機会が学校にはない。それで授業だけでは到底無理な問題をテストに出し、子供たちの学習意欲と学力向上の機会を奪っている。学力を上げるために市や府が頑張ってくれているとは到底思えない。
- ・詰め込み式の、テストのための暗記とならないもの、芸術体験、一つのことにじっくり時間をかけて取り組むもの、比較されて劣等感を植え付けるようなことのないもの、嫌なことをさせられているのではなく、わくわくするような導入で差し出すもの
- ・先生自身が、学びの場に参加してくださること。そんな場がないなら、自ら教育の勉強会の場を作ってくださいとか。
- ・先生自身がおもしろいと思う授業を展開できること
- ・習熟度別授業や宿題など、学力に応じた指導
- ・全員に同じことをさせるのではなく、好きなことを選択したり、興味のあることを伸ばせるような環境が必要だと思います。
- ・クラスに馴染めない場合の場所作り
- ・死に至らない失敗を安全に経験させる事
- ・意識改革。親の働いている姿を見せる。自分が学校に行ける事が当たり前ではなく裏で支えてくれる家族がいる事を再確認してもらう。
- ・教員の働きやすい環境づくり
- ・学校の規模学校に要求する事が多すぎ。市は子どもの習い事の補助金を出すとかして貰えると助かりますに合わせた生徒数
- ・質の高いとは。漠然としていてわかりにくいので、明確に教育委員会としての説明が必要ではないですか？
- ・わからない

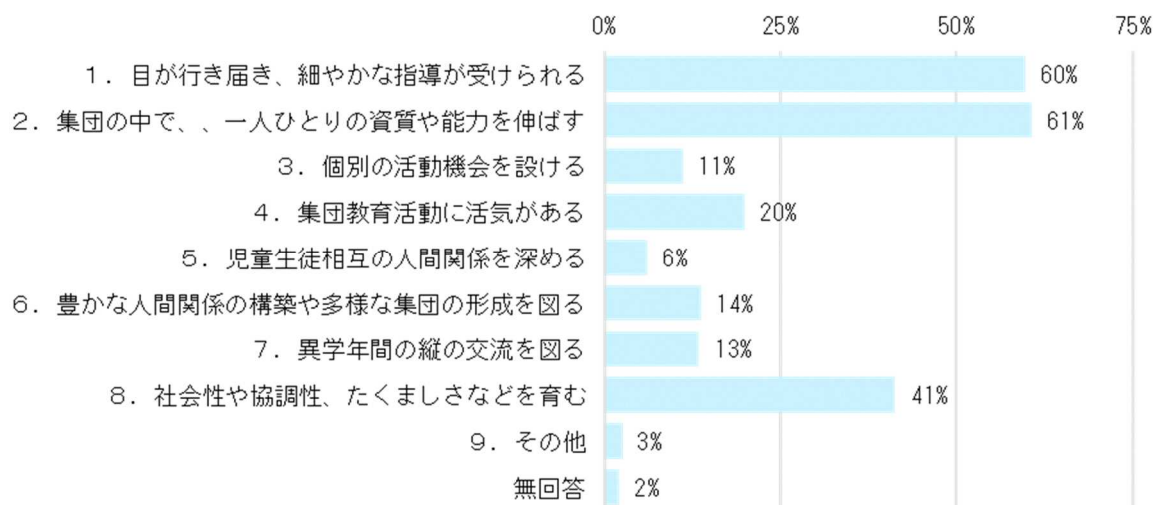
問 14 学校の在り方についての考え

これからの京田辺市の学校の在り方について、あなたの考えに近いものはどれですか。(3つまで選択)※

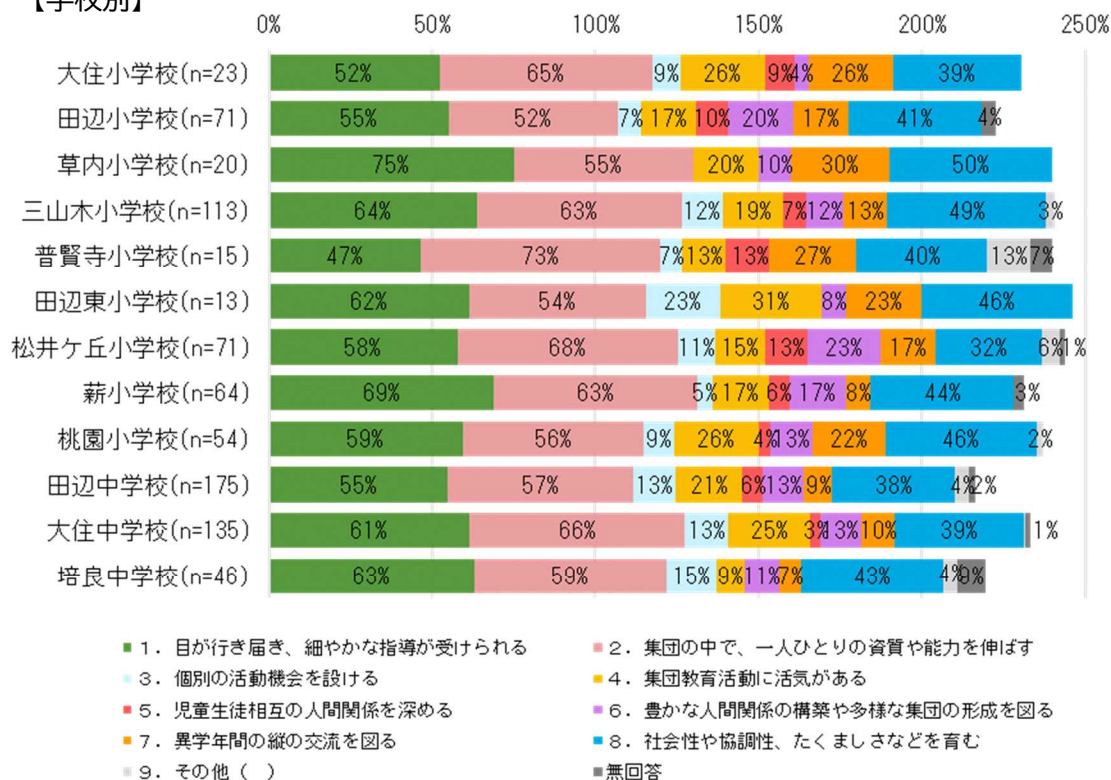
「集団の中で、多様な考え方にふれ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばす」(61%)、「児童生徒一人ひとりに目が行き届き、細やかな指導が受けられる」(60%)が多かった、次いで「切磋琢磨することなどを通じて、社会性や協調性、たくましさなどを育む」(41%)、「運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気がある」(20%)が多かった。

小中学校別では、小学校で「異学年間の縦の交流を図る」(17%)が、中学校よりやや回答割合が高かった。

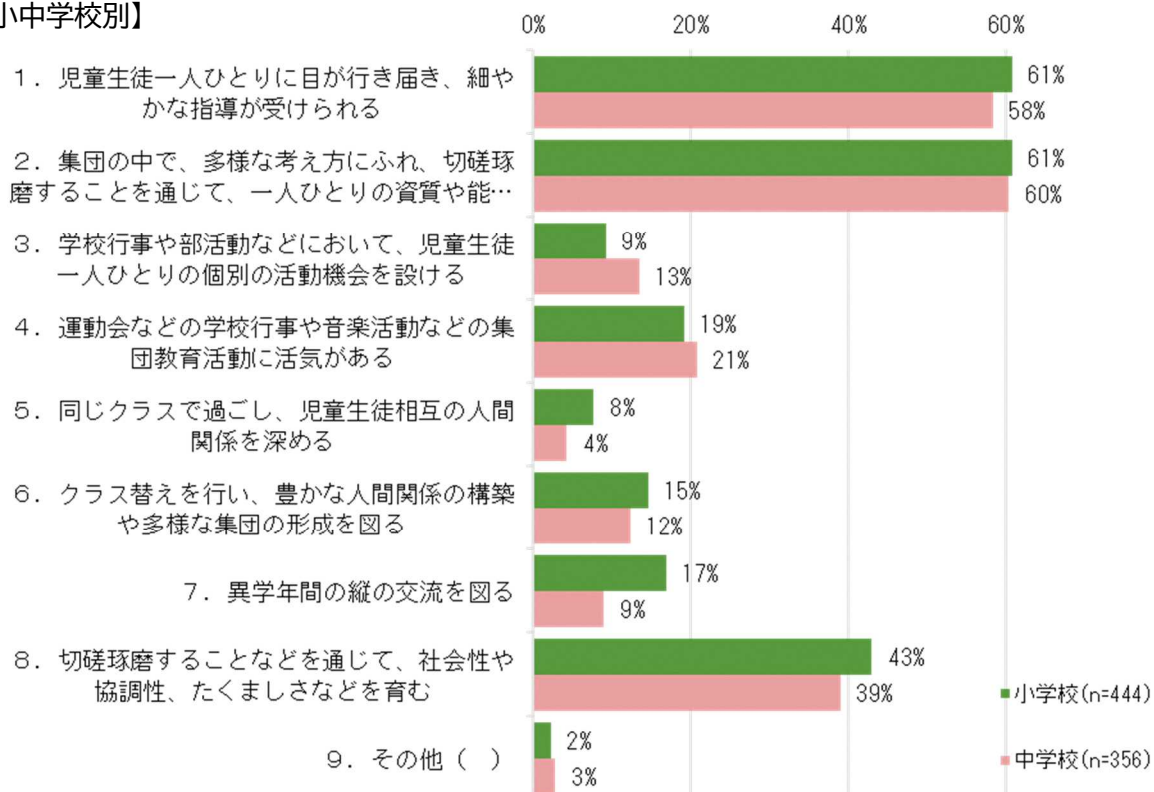
問 14 学校の在り方についての考え (n=800)



【学校別】



【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【教員の質】

- ・教員の質の幅が広すぎる。高いレベルで均質化する必要があると思う。
- ・教員の働く環境整備と良質な教員の確保

【教員等の増員】

- ・先生以外の指導員(社会経験あり)を増やすこと
- ・少人数のクラス編成が可能になるよう、十分な教員数の確保

【学校の対応】

- ・学ぶ環境整備
- ・手取り足取り、やりすぎは望まない。
- ・魅力ある学校にして、いじめや不登校を減らす。
- ・先生や子どもたちがイライラすることなく、笑顔があふれる学校。そのためにもなるべく少人数で。心にもカリキュラムにもゆとりがある。こどもをまるごと受け入れて認めて育む。
- ・取り残される子のいない環境づくり
- ・コロナ時の対応など、全てにおいて意思決定が遅れている。
- ・学校に行けない日は、オンラインで授業を受けれる様に希望します。
- ・学力によってクラスを分けるなど、学力に合った授業をしてほしい。
- ・共働き世帯が安心して働ける環境作り
- ・教育の基本的な考え方として、世界子ども憲章に沿ったものであること。
- ・集団の中でひとりひとりの個性を見つけ良い方向に伸ばす
- ・本当の意味での食の大切さを学ぶ
- ・毎日元気に行く
- ・今の大人や先生も現代教育を受けてきているので、それを手放して自己認識をして、大人が大人になって、子どもに対していく、態度で示していくことが、健全な子どもを育てる見本になる
- ・期待してない

Ⅲ 地域について

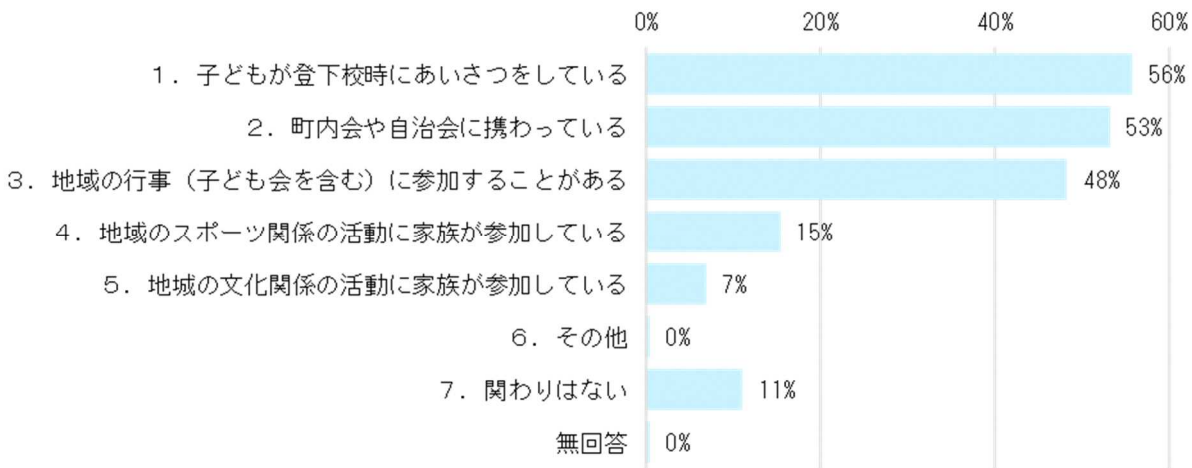
問 15 地域との関わりはどのようなものか

あなたの家庭での、地域との関わりはどのようなものですか。(あてはまるもの全て選択) 関わりがない場合は7を選択してください。

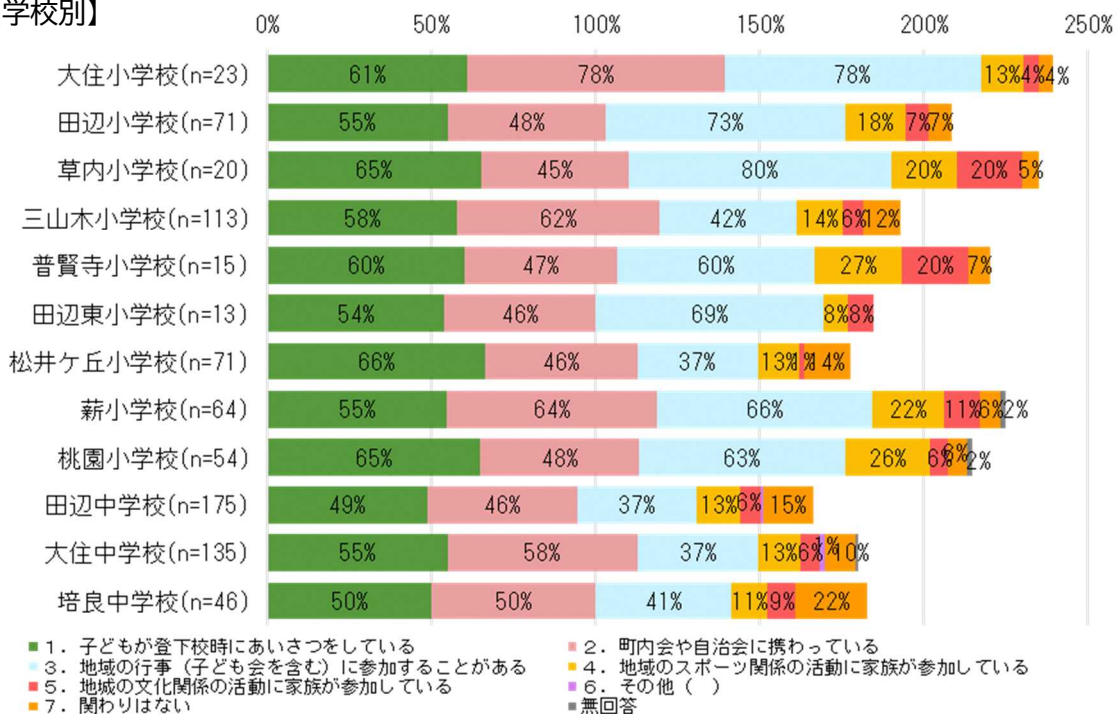
「子どもが登下校時にあいさつをしている」(56%)、「町内会や自治会に携わっている」(53%)、「地域の行事(子ども会を含む)に参加することがある」(48%)の回答が多かった。

小中学校別では、中学校で「地域の行事(子ども会を含む)に参加することがある」(37%)が、小学校より回答割合が低くなった。

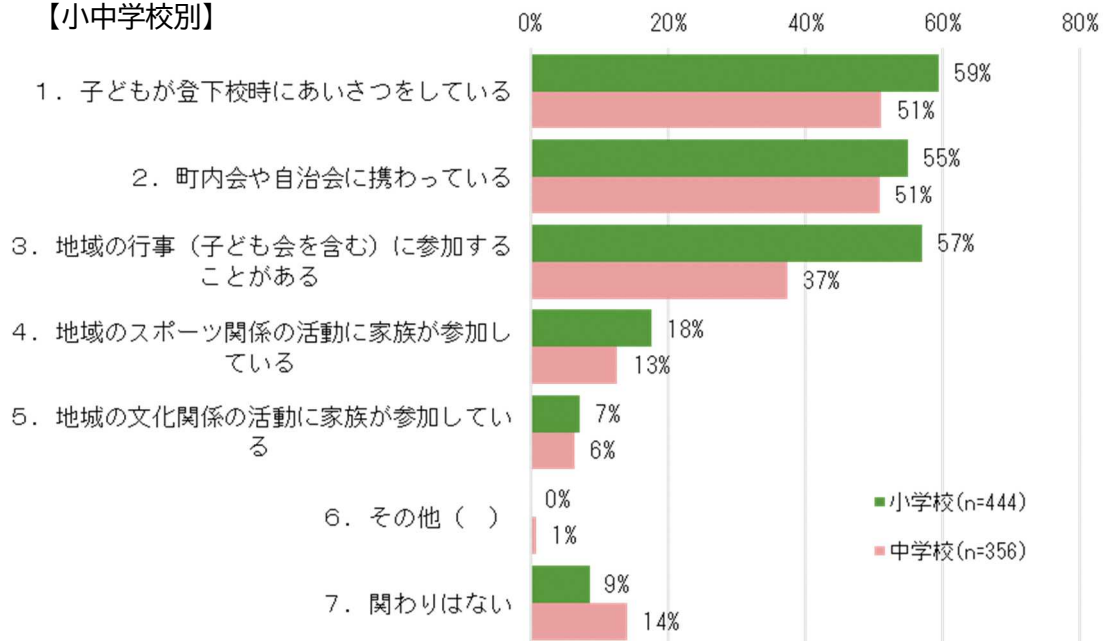
問 15 地域との関わりはどのようなものか (n=800)



【学校別】



【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

- ・ボランティアでおはなし会や絵本の読み聞かせに行っている
- ・育児サークルに参加している
- ・ご近所さんとの関わり

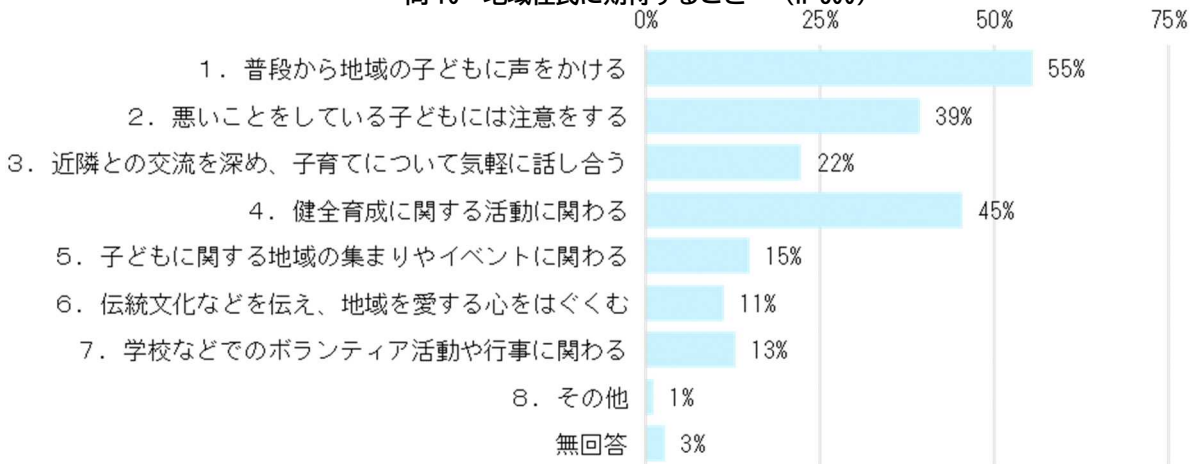
問 16 地域住民に期待すること

子どもの健全育成のために、地域住民に期待することはどのようなことですか。(3つまで選択)※

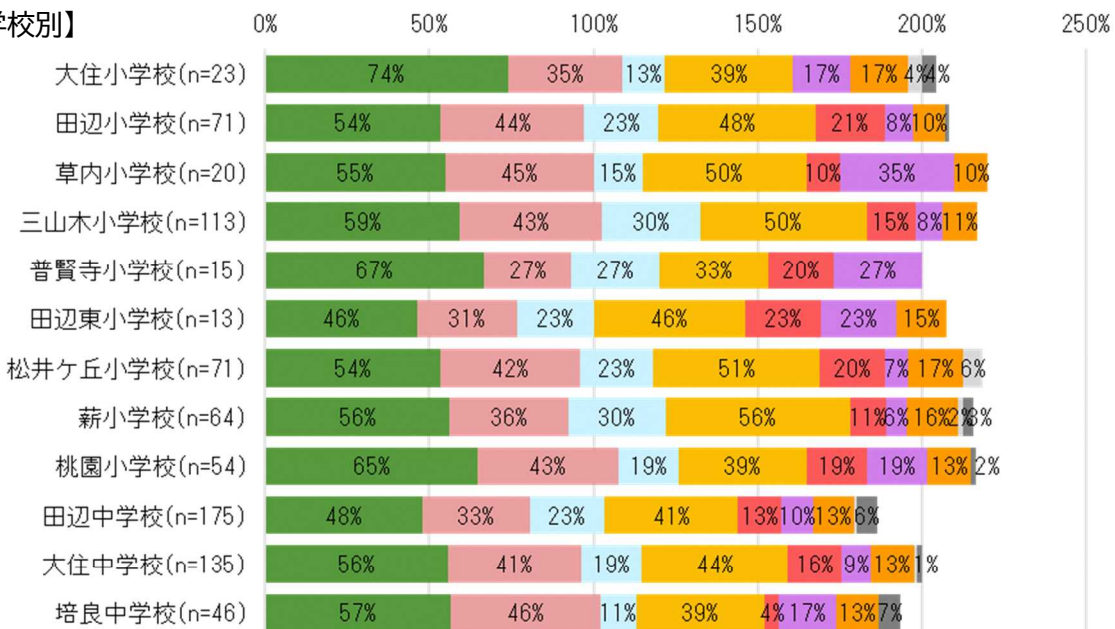
「普段から地域の子どもの声をかける」55(%)、「子どもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に関わる」(45%)の回答が多かった。次いで、「悪いことをしている子どもには注意をする」(39%)、「近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話し合う」(22%)が多かった。

小中学校別では、上記の4項目とも、中学校の方が小学校より回答割合がやや低くなる傾向がみられた。

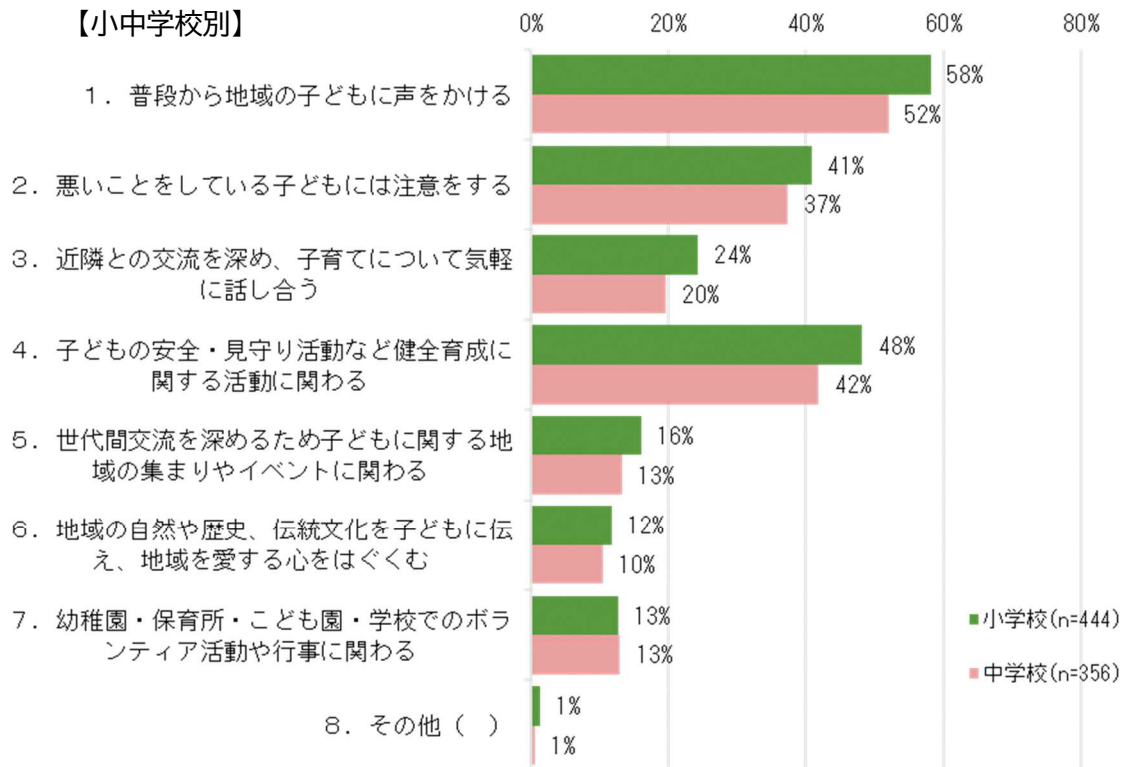
問 16 地域住民に期待すること (n=800)



【学校別】



- 1. 普段から地域の子どもの声をかける
- 2. 悪いことをしている子どもには注意をする
- 3. 近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話し合う
- 4. 子どもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に関わる
- 5. 世代間交流を深めるため子どもに関する地域の集まりやイベントに関わる
- 6. 地域の自然や歴史、伝統文化を子どもに伝え、地域を愛する心をはぐくむ
- 7. 幼稚園・保育所・こども園・学校でのボランティア活動や行事に関わる
- 8. その他 ()
- 無回答



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【子どもとの接し方】

- ・公園でボール遊びをさせてほしい。今はボールで遊んでいると公園の近隣から時々怒られるようです
- ・うるさいだのボール遊びが危険だのと言って子供らしさ、子供を産んで育てようと思う気持ちを奪わないで欲しい
- ・子ども達を温かい目で見守る
- ・子供を邪険にしないでほしい

【地域の安全】

- ・とにかく、犯罪や事故に巻き込まれないように協力してほしい

【その他】

- ・関わらないでほしい
- ・わからない

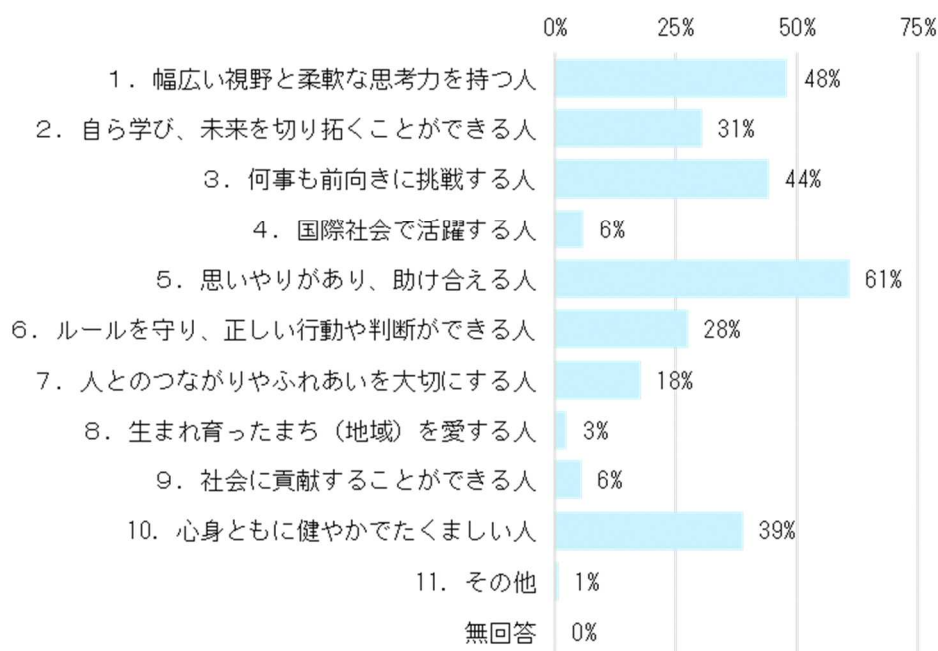
IV 将来の京田辺市の子どもについて

問 17 お子さんに対して、将来どのような人になってほしいと思うか

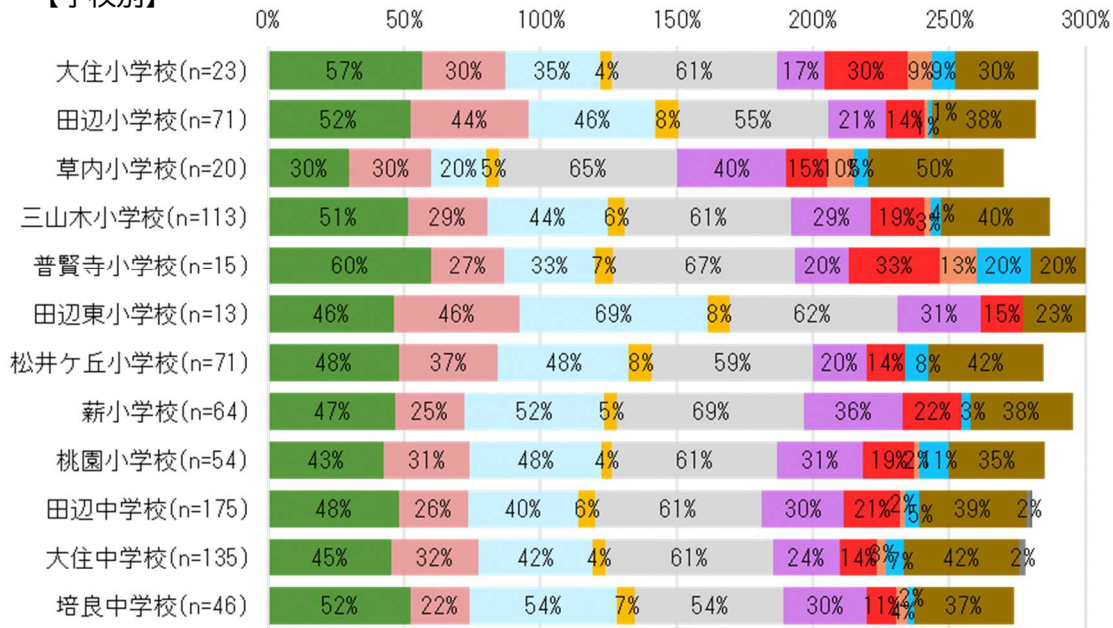
あなたはあなたのお子さんに対して、将来どのような人になってほしいと思いますか。(3つまで選択)※

「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」(61%)が最も多く、次いで、「幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人」(48%)、「何事も前向きに挑戦する人」(44%)、「心身ともに健やかでたくましい人」(39%)が多かった。

問 17 お子さんに対して、将来どのような人になってほしいと思うか (n=800)

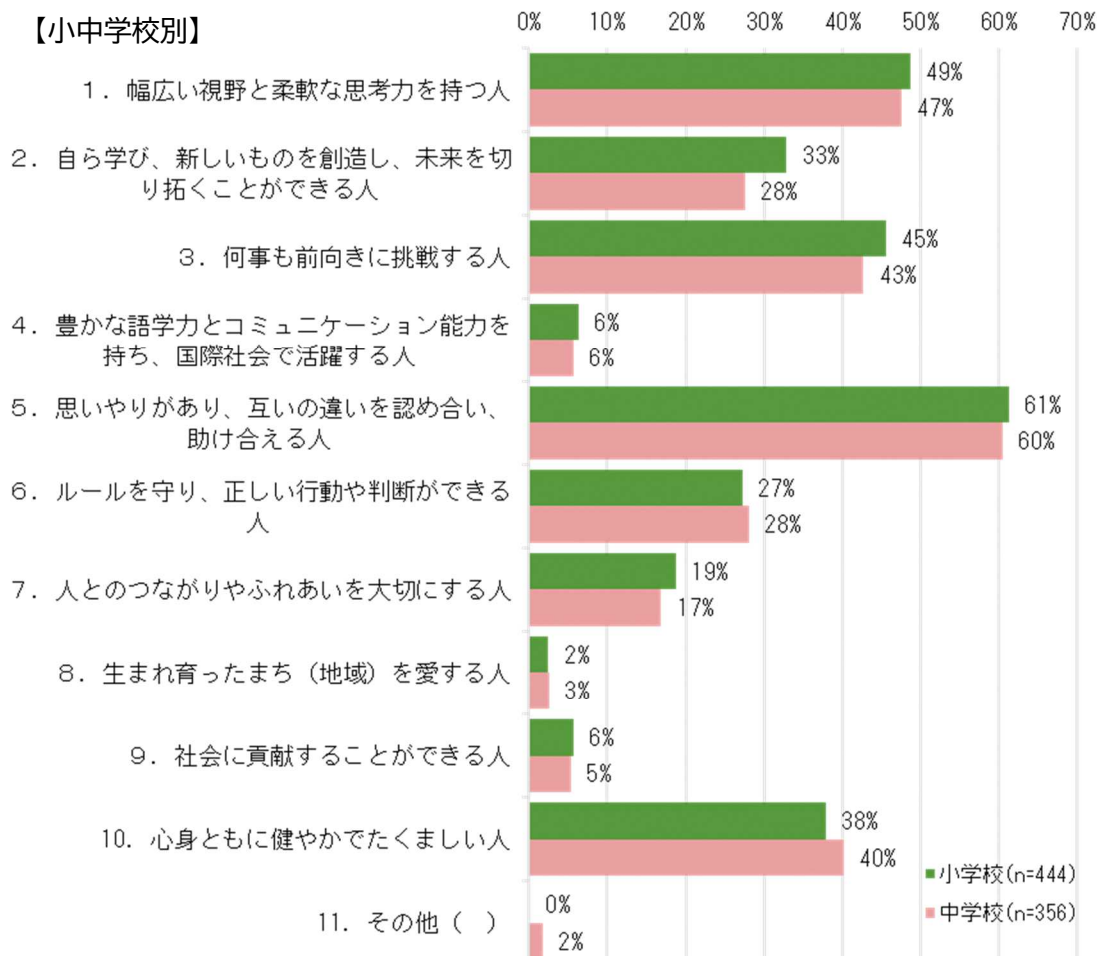


【学校別】



- 1. 幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人
- 2. 自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人
- 3. 何事も前向きに挑戦する人
- 4. 豊かな語学力とコミュニケーション能力を持ち、国際社会で活躍する人
- 5. 思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人
- 6. ルールを守り、正しい行動や判断ができる人
- 7. 人とのつながりやふれあいを大切にする人
- 8. 生まれ育ったまち（地域）を愛する人
- 9. 社会に貢献することができる人
- 10. 心身ともに健やかでたくましい人
- 11. その他（ ）
- 無回答

【小中学校別】



その他の記述内容は以下の通りだった。

【その他】

【自分を愛し大切にできる】

- ・自分を愛し大切にできること。謙虚でありながら積極的なこと。
- ・自分自身を大切にできる人間。
- ・自分を愛し大切にできること。同じように人も愛し大切にすること。感謝。敬意。
- ・幸せになって欲しい

【その他】

- ・思考することを諦めない人
- ・自分のやりたいように、自分で決めて自分でする人
- ・心が折れることがあっても、また前向きにすすんでいける人

問 18 自由記述

京田辺市の教育について、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

自由記述の内容は、児童・生徒数の増加による問題や、教職員についての意見、【ICT(タブレット、オンライン)の環境及び活用についての意見などが多く寄せられた。

【教育全般】

- ・塾に頼りすぎているのではないか。塾に行くお金がないので、学校で学力をしっかりつけてほしい。
- ・さらに深みのある教育を目指していただきたいと思いますし、京田辺市ならできると思います。学校、家庭、地域が連携して取り組んでください。
- ・家庭での基本的なしつけがなされていない子どもの増加、それにより、教員の負担が増え、学校で手がかかる子に先生が引っ張られ、普通に授業を受けたい子がなおざりにされているクラスの様子を聞きます。また先生が、愛情を持って子ども達と接していないのか、先生の言葉遣いや態度から子どもが不信感を抱いています。
- ・教育とは、学校だけでなく、家庭や地域と一緒にやり行えるものだと思います。先生方だけではなかなか大変な世の中になってきているのではないのでしょうか。
- ・退職された地域の高齢者の方々、子育て中、あるいは子育てを終えた母親、父親の方々、若い学生の方々、教員免許を持っていなくても、人間力や地域力で素晴らしい力を持つ方達が、沢山おられると思います。
- ・学校に色々な世代や立場の方が関わられるようにし、居場所や関係性を作れるようにすることが、未来を担う子ども達の健全育成には必要だと強く感じます。
- ・保護者の声を聴いてくださりありがとうございます。子どもたちが皆平等に質の高い教育を受けられるようにして頂きたいと思います。
- ・教育格差がありすぎます。シングルの方の方が裕福で、一般家庭はギリギリで生活し、習い事もできません。なぜシングルの方の方が裕福なんですか？もらえもしない、給付金の案内を対象外の家に送るぐらいなら、紙代や、郵送代をうかせて無駄遣いせず、皆、平等にもらえるようにしてください。全ての情報がわかるのに、対象外の家に送るのは、本当に税金の無駄遣いです。
- ・今、補助金が出ているのは、かなり低所得のご家庭ですが、実際は、それよりもう少しか収入のある家庭でも、厳しく感じています。部活道具代、遠征費、塾、進路など子供たちが親の収入を理由に諦めなければならないことが少しでも減り、平等な教育機会が与えられることを期待します。
- ・こどもの意見を聞く機会をもっともっと増やしてください。この計画についても、なんのために作るのかということがイマイチわかりません。子どもたちにもわかるように説明して、子どもたちにもアンケートを取ってください。こどもも大人も幸せになれるような教育が京田辺市から是非実現させてほしいです。
- ・一口では難しいことですが、色々なことに興味を持てるように育てほしいし、色々なことに触れ、考え、自分なりの答えが出せる、そして自身が持てるようになって欲しいし、京田辺市でも子ども達が持つ意見や考えに柔軟に対応してもらえると、楽しい地域、地元愛も上がるのかな？なんて考えます
- ・教育委員会主導ではなく、学校独自の取り組みや決定を進んで行き、子供の成長教育に力を入れて欲しい。
- ・教育に携わる方々、特に教育委員会の方々がもっと柔軟で人間的な考え方と決断力と行動療法があることを切に望みます…。
- ・学校マンモス化を放置していたり、対策も到底納得いくものでもなく、今の子どもたちが犠牲になっている事をどう考えているのか知りたい。こんなアンケートよりする事が他にありません。教育に関しては不満し

かありません。

・京田辺市は、以前より教育現場における問題解決に前向きに考えて頂いている事が、わかります。ありがとうございます。

・忙しくて親も子ども時間がない家庭が多過ぎる。疲れてると親子関係も悪化する。スマホを眺める時間とは違うリフレッシュタイムが必要かと。例えば市がバスや道具をサポートしてくれ、母子で行ける1日キャンプや昆虫館巡りなど開催してくれたら嬉しい。(その際初対面の他人とコミュニケーションが過剰に必要なものは疲れるのでレクリエーションが多過ぎるのは問題。)楽しい思い出が親子で作れ、子どもの記憶に残りそれが未来への原動力になればそれが一番ではないかと思う。大人だけではなく子どもにもたくさん意見を聞く街づくり、教育環境作りをしたらどうでしょう。能動的に自分の力で動ける子ども達を育てていけたらと思います。子ども達がここが一番楽しい!と思える街にしたいですね。指導も大事ですが今はサポートが必要な子どもが多いです。温かい環境が人を育てると思います。

【児童・生徒数の増加】

・1クラスの人数を減らし、子どもがストレス少なく学べるようにしてもらいたい。

・1クラスの人数を減らして先生が1人1人をよく見れるようにしてほしい。

・子どもの人数が多すぎる。

・田辺中学校は生徒の人数が多すぎて、教師も1人1人になかなか目が向かない。友人とも深い付き合いではなく浅く広い付き合いになる。分校にすべき。

・三山木小学校は児童数が多く、一人一人の子どもに目が行き届いていないと感じることがある

・三山木小学校の人数の増加に伴って、児童が伸び伸びと過ごせている環境が整っていない様に感じる。

・三山木小学校子供の数に対してのグラウンドの狭さ、バスで公園までいき、体育授業をしていると知りびっくりしました…運動会はどうするのでしょうか。休み時間運動場での外遊びは、曜日によって決まっているとのこと。限られた条件の中ルールを決めて…というやり方はわかりますが…育ち盛りの子供にそれは…と思います。

・むしろ危機感を感じる。先生方は現場で精一杯のことをされているのに、その環境を、整える立場の人の関心が薄い。本来児童が受けれるべき環境の中で教育が受けられてない様に日々感じる。

・仮設の校舎のためにグラウンドが狭くなって、公園で体育の授業をすとか時間が無駄だし、児童と先生への負担を増やしているだけ。休み時間に充分に外に出て遊べないのもおかしい。伸び伸び学校生活を送ることすらままならないのかと思う。

・児童数が多い面で社会性や集団活動の面では協調性が身につく幅広い人間関係を経験できる反面、人数が多いことを理由に本来受けられるだろう活動や行事が削減され子ども達の経験の場が薄れているように感じるのが悲しい。他の学校と同等の経験や教育をさせてあげてほしい。学校の施設も児童数に対して足りておらずのびのび生活できていない。

・将来、子どもが田辺中進学予定だが、生徒数の増加で体育の授業場所の確保が出来ずバスで近くに移動し行っているという話を聞いた。

・田辺中学校の生徒数増加に対して、もっと積極的に対処して下さい。

・生徒数増加の影響で、このような子供達の活動に支障がこれ以上出ないか大変不安で心配です。

・増え続ける生徒数に対する対策(せますぎる校庭)などを早急にしてほしい

・場所や施設が足りないことで子どもが犠牲になっています。

・また、先生も子どもの細かなケアに関われてないと思います。

・20人前後の学級にすることで先生の負担が減り、一人一人にきめ細やかな関わりができるのではないのでしょうか?

- ・先生の負担はそのまま子どもへの負担になります。
- ・倍良中への選択肢が増えたことでは、解消されないと思います。
- ・分校を作るなど早急に対応して欲しいです。
- ・いつも様子見ではなく、京田辺市から画期的な改革をして欲しいです。三山木小、田辺中の大規模校対策はしないで時が経つのを待っているとしか思えません。
- ・これだけ子どもが増えているのだから、予算をつけて分校を作るなど、しっかり対策をして下さい。
- ・一つの場所につめこみすぎだと思います。

【学習支援】

- ・不登校児への学習支援。
- ・インクルーシブ教育が行き渡るよう、子どもたちへの教育と教師や指導員の充実をお願いしたいです。
- ・通常級に入れない、けど支援級でもないグレーゾーンの子が入れる少人数のクラスがあってもいいのではないかと思います。京都府の制度でなくて、市独自の判断で学校の実態にあったクラス編成ができればいいなと思います。
- ・京田辺市の教育については主に健常者基準の質問ばかりでしたが障がいをもつ子に対しての家庭にももっと手厚く教育の事を考えて頂きたいなとつくづく感じます。

【いじめへの対応】

- ・いじめ問題について。市教委として、どのようなアプローチをされているか明確に示してほしい。
- ・学校のいじめをどうにかしてください。

【不登校】

- ・子供のはなしをしっかりと聞いてほしい。不登校児のケアはもちろん大切だが、言われた側の子のケアも大事だと思う。本当に原因はそこにあるのか、納得できるまで両方のはなしをきちんと聞いてほしい。先に嫌だったと言ったもん勝ちのようになっていることがよくある。
- ・学校の中に、不登校の子ども居場所があるといいなと思います。保健室は少しの時間だけしかいられません。そうすると、教室に入りづらい子は、学校を休むしかないと思います。

【教職員の労働環境】

- ・IT化推進による教員の負担軽減、効率化
- ・先生が足りていないように見えます。教員もちろんですが、補助や警備の人を入れて、授業中や休み時間も安全に過ごせるようにして欲しいです。
- ・教員が疲弊しているようにも見える。人員が必要最低限しか配置されてないのではないかな？人員をもう少し増やし、より子供のことを考える余裕を教員に与えるべきだと思う。
- ・教員の数を増やして児童に目が届くようにしてほしい。
- ・教員の負担を減らし、余裕のある対応ができるようにしてほしい。
- ・先生の働く環境を切に整えて欲しい。
- ・先生方の仕事量が多いと想像するので、お休みの日などしっかり休めるようにしてあげてほしいです。
- ・質の高い教育を提供して頂けるような職場環境の改善が急務だと思います。
- ・担任の先生の負担が大きすぎる、人手不足で大変そうだと保護者の目線でとても感じる。
- ・中学の支援学級の教員を増やしてほしい。

- ・先生が子どもへの関わる時間を増やす為には、他の雑務で委託できるものは委託するようお願いいたします。
- ・校内のエアコンやトイレ掃除、草刈りなどは専門の業者に委託して下さい。
- ・市役所のエアコンやトイレ掃除も職員でされているのでしょうか？公立学校は市の物です。管理は市が責任持って予算組んで下さい。
- ・日々の成長を支えて下さる先生方のおかげですが、その先生方は激務が続いているようなので、どうか環境改善して頂ければと切に願っております。先生方の QOL 向上は、子ども達への指導に良い影響を与えてくれると思います。

【教職員について】

- ・教員に対するリスペクトに欠ける親が散見される。教員は本来指導者であり親、子供からリスペクトされるべきで、そうでなければ教育は成り立たない。親側の意識改革も必要だし、リスペクトに足る教員の育成も急務ではないでしょうか？
- ・高 2、高1、中 2 の子どもがいますが、特に小学校時代は担任の先生によって、指導の差が大きかったように思います。
- ・良い先生を目標に、ある程度ここまでは全員やりましょうと基準を設けて頑張ってもらいたいと思います。
- ・子ども達に対しての伝え方の研修を新人からベテランの教員まで幅広くやってほしい。
- ・中学校ではいろいろな先生とかかわれたことで、気の合う先生と仲良くなれたりしたようです。あまり接点のない先生でも、気にしてないようで、通りがかりにでもこまめに声掛けてもらえるのが、実は嬉しかったりするようです。
- ・子どもにもよるかもしれませんが、いじめを防いでいく、気軽に話せる雰囲気を作っていくことが、良い校風を作っていくことに繋がるのではと思います。
- ・嫌味ばかり言う先生がいらっしやるので辛い思いをしています。
- ・子供たちに対する先生方の接し方について、子供たちに興味を持って向き合っていただけるようお願いいたします。そのために行政には研修などの実施、また忙し過ぎて子供たちよりも自分を優先してしまうことの無いよう先生方へのフォローをしっかりとっていただきたいです。
- ・小学校教師の質の向上を望みます。
- ・先生方自身が柔軟に物事を考えられるような人材の育成が必要ではないかと思います。
- ・1 学年の途中で担任の先生が変わるのが 5 年生までで 2 回あり、子供も慣れた時に違う先生にかわるので、1 年間同じ担任の先生がいいと思いました。
- ・先生のひいきがすごい。塾などに通わず親が多いからそれにたよりすぎて、他の市に比べて全然勉強教える気がない。補習もプリントやらせて形だけの夏休みのみ。できない子は放置する。形だけの対応。昔からかわらない。いじめや悪いこと見て見ぬふり。ニュースになるような事件が起きて、できるだけ周りに知られないように生徒の口止めだけは早急。そんな大人の対応を見て育つ子供達。京田辺市に期待しても無意味。

【ICT 等の環境及び活用】

- ・ICT の環境及び活用出来る先生の育成が悪すぎなので改善を求め。通信の途切れが当たり前になり過ぎていることは非常にまずい。
- ・タブレットはあるのに、学級閉鎖時にオンライン授業はできない？「各家庭にネット環境が、」と。なぜ？学級閉鎖の期間リースの wifi の貸し出しなどいくらでも手はあったはず。他の地域、私学はできているのに、と目を疑う対応が多かったのは極めて残念。
- ・学びをとめないために、オンライン授業ができるように教育委員会が指揮をとってください。現状、学級閉

鎖や休校時は学びがとまっています。

・学校に行きづらい子のために、欠席の日は自宅でオンライン授業に参加できるように進めていただきたいです。隣の井手町は、数年前からオンライン授業を受けることができます。中学の子供ですが、先生が怖いと言います。発達の特性もあるかもしれませんが、小学校では一度もその様な事は言いませんでした。言葉の指導など、敏感な子供に寄り添う言葉使いなど、先生全体にご指導頂きたいです。民間でも、パワーハラスメントなど、社内での研修も進んでおり、雰囲気も変わって来ますが、学校の中では、外部の方との接触が少なく、時代おくれの指導になって、後に大きな問題になってくるかも知れません。他の保護者からも、子供の指導には向かない態度や言葉の先生がいると聞きますので、問題になる前に、教育委員会にてご指導お願いします。

・タブレットの有効な活用してほしい(家庭への持ち帰りは wifi 環境の確認の一度だけしかない) 大阪では頻繁に家庭に持ち帰り、宿題や課題などに活用しているし、教材もタブレットに入れ、教材の軽量化を図っている

・タブレットばかりで目が疲れてるようなので目の休憩させてほしい

・なんでもタブレット任せにせず、適度に効果的な活用をしてほしい。

・画面を見て勉強するのも一つの手ではあるが、実際に触れ、聞き、先生や友達との時間や会話を楽しみ、意見を交換しあったり等、同じ時間を共に過ごしている周りの人との関わりを大切に学んでほしいです。

・プリントではなくてタブレットを活用して宿題して欲しい。教科書を毎回持って帰ってくるのでタブレット一つで教材をまとめて欲しい。

・スマートフォンを渡して、渡したままになってる家庭がある。こどもの交友関係は親が決めるわけではないけど、トラブルに巻き込まれたり、悪影響を受けたくない。自分のこどもも絶対やらないとは言えない。パンフレットを渡すだけでなく具体的に sns の使い方のモラルや、写真を撮って sns にあげること(そもそも写真を本人や所有者に無断でとること)のリスク、世の中にどういう権利や法律があるとか、どのようなトラブルや事件がおこっているのかなど全学年に毎年指導を行っていただき、こども同士でしっかり話し合ったり、一人一人プリントに反省や感想などを書かせて理解できているのか把握したりなど、sns を使った事件になる前に取り組んでいただきたい。

・スマホ、タブレットを家でも学校でも扱う子どもたちへ SNS との付き合い方、モラルを家庭も含めて伝えていくことが必要だと感じます。学校の iPad で盗撮、拡散してしまう。昼休みに学校の iPad で先生の私的な SNS アカウントを検索している。善悪の分別がついていないことの象徴のような気がします。それがどんな事象に繋がるのかを想像させることが犯罪をとどまらせる有効な方法だと思います。悪意がなくとも簡単に犯罪に繋がることがあることを子どもたちには知って欲しいです。

・ネット環境、タブレット 1 人 1 台などデジタル化が進んでいるので、これを活用し海外の学校とオンラインで異文化交流をするなどの企画があると良い。言語が違う・宗教が違う・文化が違う…など「違い」ということを学び、その考えを理解し受け入れ、共存することのできる環境を作り出せる力を育てる教育を望みます！

・他市より IT 利用が衰えている。iPad を配布しているのだから、やむを得ず長期休みの時や、不登校の時に授業参加できるオンライン授業を早く取り入れるべき。

【教育方針・教育内容】

・学校教育に一貫性を持たせて欲しい。先生によってクラス運営や授業内容の差が激しい。

・京田辺にはシュタイナー学校があるので、より広い視野を持つシュタイナー教育を部分的に公立学校教師の方々が学ぶこともいいと思います。

・厚労省の調査によるとコロナ前、2012 年から 2017 年の間にゲーム依存を含むネット依存が疑われる中高生の数はほぼ倍増しています。大人でさえ、メディアを使用したあとの感覚を現実世界に持ち込んでしまう

ことがあります。たくさんの研究やメタスタディで、前頭葉の発達障害や思考・制御力の障害、姿勢や目への影響、共感力の低下、SNS への依存の危険性が示唆されています。特に小学生においては、タブレットでなく現実の体験や人との交流を最優先していただくことを希望します。

・子ども達が、好きなことをみつけて伸ばせる学校を目指してください。中学校のクラブも一部だけに力を入れるのではなく、様々な活動を応援してあげてほしいです。時代に合わない行事も(体育祭で組体操など)変えていってほしいです。伝統を守るより、子ども達の安全第一に考えてほしいです。

・周辺の市に比べて京田辺市の教育は遅れていると思います。もっと柔軟に積極的に色々なことをとりいれていってほしいです。

・成人年齢が18歳に引き下げられた一方で、今の義務教育では、選挙権を得て、自分の頭で考えて1票を投じるといふ時に判断材料が少なすぎる。政治や社会に対して、当事者意識を持って、選挙に参加できるようになるような教育、講習をしてほしい。

・生きる事の大切さや、人の尊厳を要に持ち、尊重し合い個々を認めあい、つながりの中で、個性を発揮できるような教育をお願いしたいです。

・集団ではあるが、個々の可能性を引き出し、うけみにならない、教育をお願いしたいです。

・学力が低い子に授業の水準が合わされている気がする。学力が高い子が低い子に合わせさせられている気がする。授業をしっかりと聞き、ノートや教科書やワークをしっかりとやっていたら、80点くらいは取れるテストをすべき。授業、教科書、ワークだけでは到底正解が無理な問題をたくさん出すこと自体間違っている。授業のレベルを学力の低い子に合わせてるのに、テストのレベルだけ他校のレベルに合わせるのはやめてほしい。

・教育委員会に電話して懇願しても変化がなく、教育改革への推進努力が不足しているように感じる

・田植え体験などさせていただきとても良いと思います。

・今後も外部の色々な職業の人の話を聞いたり、見学したり、体験したりする機会があればさらに幅広く興味を持って良いと思います。

・熱心な学習指導、田植えなどの特別授業に加え、SDGSや防災に関する勉強もあり、素晴らしい学生生活をご提供頂き、改めてお礼申し上げます。

・勉強ばかりで楽しくない、と子どもから聞きます。ただ机に向かってするだけが勉強ではなくて。普段の生活や遊びが学習に繋がるように、詰め込む授業ではなく、ゆとりある学校生活にして欲しいです。

・優等生が良い子だとは限りません。1人1人に目を配ってほしい。

【宿題・テスト】

・中学校の宿題がないと聞いたが、宿題を出した方がいいと思う。

・中学校の中間テストが今年から単元テストにかわりましたが、テスト休みも無く、部活動もそのまま試験勉強に集中することができませんでした。先生も通常授業をしながらのテスト作成だったと思うのですが、単元テストのメリットが分からないので教えていただきたいです。

・中学校の中間テストが今年から単元テストにかわりましたが、テスト休みも無く、部活動もそのまま試験勉強に集中することができませんでした。先生も通常授業をしながらのテスト作成だったと思うのですが、単元テストのメリットが分からないので教えていただきたいです。

【学校等の対応】

・コロナ時の対応が極めて遅かった。できない理由を考えるのではなく、できるところから対応して欲しかった。市内全てが一律対応である必要はなく、柔軟な対応をとって欲しかった。

- ・何でも家庭に押し付けるのではなく、ある程度のことは学校で処理を出来るようにするべき。
- ・学校の先生方にはいつも感謝しております。子ども達のすべてを先生や学校にお任せするのではなく、学校だから学び経験できることは先生方のお力を借りて、家庭で教えていけることは家族で教え合い身につけていけたらと思っています。子ども達の間で起こる問題やトラブルも、それぞれの家庭での考え方の違いや対応の違いを感じ、全て先生が解決していく難しさを感じます。それぞれの家庭が親が、子ども達に目を向け、耳を向け、心を寄せる時間やゆとりが必要なのに、それが難しい時代なのかなと感じています。
- ・学校へ直接意見が送れるフォームを学校のホームページにつくって欲しい。
- ・教育委員会が、隠す事なく、気にかかる事案があったら、しっかり対応してもらいたい

【学校施設等の環境整備】

- ・子育ての町にするならば、その場しのぎのプレハブ校舎ではなく、同志社大学と連携して、校舎を借りたり、校区を整備したりなど、もっと子供が過ごす環境を充実させてほしい。
- ・体育館の広さ、グラウンドの広さ、体育を行う、つるさわ公園の環境、学童施設の環境、教室を使った学童。規定違反になりそうな環境は、問題。子供は文句を言わないが、子供なりのストレスがたまっているはず。
- ・トイレ・給食などの環境面がもう少し改善されれば良いと思う事はありますが、子供には選挙権が無いからこのままでも仕方ないと思って見守っています。
- ・学校の建物、設備の老朽化が酷い、図書館等文化的な構築物の老朽化が酷い、豊かさを感じない。
- ・校舎を新しくしてほしい
- ・校舎もまた仮設が増え、体育もバスで移動して他の運動場で行っているということなので、新しい学校を建てることも検討してほしい。
- ・三山木小学校区域は児童数増加に伴い、施設の規模が合っていないと思います。一時の事ではあるでしょうが改善をお願いしたいです。
- ・施設を整えて欲しいです。
- ・小学校、中学校共に設備が古いままです。特にトイレ、水道など水回りは私が生徒だったころから変わっていない箇所が多いようです。耐震工事がなされエアコンが付くなど、改善されている部分もたくさんあるようですが、不衛生な古いトイレ、水道もぜひ改善していただきたく思います。
- ・小中学校の体育館を気軽に利用できるようにして欲しい! スポーツの自主練習に使いたい。
- ・学校にウォータークーラーを設置していつでも水が飲めるようにしてください。

【通学路・通学手段・登下校の安全】

- ・中学校の通学路が危ない
- ・中学への通学路の整備をお願いします。
- ・車、自転車、歩行者それぞれ安心して通れる道がほしいです。
- ・電動自転車購入に補助金を出して欲しいです。土日や放課後に私的利用するから、出さないという理由なら、電動自転車の貸与や通学バス出して下さい。京都市内に引越しを検討するくらい、中学校の環境がイマイチ過ぎます。
- ・大住中を自転車通学可能にしてください。
- ・他の公共機関と連携して登下校時の安全面を配慮して欲しい。(不審者について)
- ・登下校の見守りシルバーさんの数を増やして欲しい。
- ・放課後に学校へ自転車で行ってはならないとのことですが、忘れ物を取りに行く時など、車では良いのに自転車はダメなのは理解できません。車のない家庭は歩いて行かなければならないのでしょうか。

・林間学習や修学旅行の日程が短く、近場な気がするので、家族ではなかなか行けないような場所にもう少し長く連れて行ってあげてほしい。集団登校は、本当に必要かは不明。

【指定服・カバン等】

・教育と少しズレるかもしれませんが、制服を小手先の変化ではなく温暖化に対応できるものに変えて欲しいです。1 番新しい倍良中が一番早く変えて、大住中が 2003 年からブレザー、ポロシャツにセーターとベストはオプションで自由に選択できました(兄と姉)田辺中はいつ変わるのかずっと待っていましたが未だ学ラン、セーラー服ですね。私も経験者ですが、夏のセーラー服は背中の襟が暑く汗をかいたら脱ぎ着が大変です。24 枚はぎのプリーツスカートも重いし、熱がこもるし、ボックスプリーツにするなりもっと通気性のいい生地にならないのかと。(昔の久御山中の夏のボックスプリーツスカートは涼しかった)活動に妨げにならず、気候や個人の体感に合わせて選べる幅を持たせた、洗濯のしやすい物に変えて欲しいです。(三山木校区の急激な生徒の増加前にしてほしいです)

・水泳学習では今年度の 5、6 年生のように家にある水着でよいと思います。”田辺中学校における制服の一新をお願いします。セーラー服と学生服。気候の変動や生活の多様化が、進む中、昭和時代から変わらない制服。あまりにも、時代遅れな感じがする。子育て世代の獲得を目指すのであれば、学校、校舎、備品、制服も熟考してください。どうぞよろしくをお願いします。

・同志社山手地域から三山木小学校に5年の子供を通わせる保護者です。兄は田辺中学校を卒業させて頂きました。両校とも、一人ひとりの学びに配慮された、素晴らしい学校で、子供達は毎日楽しく通わせていただいております。京田辺市教育関係者の皆様には心から感謝しております！教育に特化したことでは無いかもしれませんが、最近の猛暑で、三山木小学校から同志社山手地域に帰宅する小学校達の様子を拝見しておりまして、命の危険性を感じています。特に低学年のお子さんは、フラフラと目つきももうろうとしているお子さんたちもおられます。年齢と、ランリュックの荷重の比率を考えると、大人でさえ耐え難く、拷問レベルになると思います！直射日光の照り返しで 40 度をくだらないアスファルトの暑さ、ランリュックの重さ、ずっと続く坂道！！小一のお母様等は、子供が帰宅後いつも頭痛を訴えている等、耳にしたことがあります。他にもおられるのでは？近いウチに何か被害が出るのでは…と毎日ヒヤヒヤしておりますが、お気づきでしょうか？お家が近いお子さんと、同志社山手地域でも坂上にお住まいのご家庭とでは、学業に差も出るのでは？と、ふと心配になることもあります。ぜひ、置き勉等しかり「ランドセル重量の軽減」を切にお願いしたいです！三山木小学校では、教科書を置いて帰っているのを先生に見つかり、罰を与えられる、とお子さんが泣いておられました。田辺小学校では、置き勉可能との噂を耳にしておりますが、、三山木小学校こそ！坂道が続く地獄の下校道なのです！どうか、教育委員会の皆さまにお気づき頂き、ご配慮お願いいたします。もし、直接の意見等必要でしたら、いつでもご連絡下さいませ。

・中学生のカバンが重すぎます。タブレット学習をもっと推進して荷物を軽くしてあげてください。

・置き勉推進、登下校時の日傘の使用を勧めてほしい

【給食】

・給食を 1 日も早く導入して欲しいです。給食費を無償化にしてほしい。その分塾など家庭でできる子供に合った教育資金に回したい。食べものが身体を作るので、給食に対してもう少し力を入れてほしい！まずは京田辺市の職員さんが、本当の意味での食のあり方を学んでいただきたいです。これからの時代に必要で、きっとそこに力を入れることで、京田辺市も発展すると思います。また、給食の牛乳は選択制にしてほしい。

・来年からの給食費を無料にしていきたいです。

【部活】

- ・中学校の先生によって、部活動の頻度などの厳しさに違いがあると思います。学力が落ちるような活動の仕方はやめて欲しい。
- ・部活動を熱心に指導いただける風土は、そのまま残してもらいたい。

【PTA】

- ・PTA は無くして欲しい。無理やり嫌な思いをして関わる意味がわからない。行事ごとにボランティアを募ればいいと思います。
- ・PTA への入会への意思確認を毎年(もちろん入学時にも)行ってほしい。自動入会や許可なく名簿を譲渡することは違法だと思います。

【その他】

- ・元気で学校が楽しいと言って通う事ができている事に感謝しています。ありがとうございます。
- ・今でも満足しています。もっと親や地域と関わることがあれば地域全体でいいと思います。
- ・子ども 1 人 1 人を丁寧に見て頂いています。いつもありがとうございます。
- ・事柄に最後まで寄り添って欲しい
- ・村社会の様相が強く、問題を明確にする前に当事者間で話し合いで済まそうとするくらいがある
- ・特にない (2件)